京城日報

二十一日夕刊

定價 紙代 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢 郵稅一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分[illegible]六ヶ月分四[illegible] ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金壹圓[illegible]

發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社　電話[illegible]　振替貯金口座京城[illegible]

○獨逸利權獲得如何

支那に於ける獨逸利權の獲得に就ては目下聯合各國の熱心に競爭しつゝある所にして英國は青島戰爭當時に於ける日本との契約に基き逸早く其の最も重要なる津浦鐵道北段に對する借款利權の優先權を主張し恐らく成功すべき模樣にて講和に際し若し確實に是を保持することを得ば英國は茲に緬甸より支那本部を横貫して奉天に至る大鐵道計畫を完成する次第なるが其の他在支獨墺船舶の處分、支那政府雇傭の獨墺人の後任の割當等に就ては目下各國公使間に交渉中にて結局各國間に夫々分配する事となるべく日本も其の重要なる部分を獲得することゝなるべしと（北京特電）

○支那兵遣歐計畫

支那兵を歐洲戰地に送り後方勤務に服せしめんとする計畫一部に行はれつゝあり（北京電報）

○一千萬元前渡承諾

倫敦銀行團回答＝全部日本市場にて募集＝擔保は鹽税剰餘金

十八日倫敦銀行團本部より大借款一千萬元の前渡しに異議なき旨回答あり北京に在る代表者は本年二月の協定に隨ひ右一千萬元は日本市場にて全部募集することに決定し支那政府と正式に交渉を開始せり支那側にて異議なくば不日成立すべく右の擔保は鹽税剰餘金なり（北京特電）

○交通銀行借款成立か

二千萬元の支那交通銀行借款は西原龜三氏の斡旋に依り成立せんとしつゝありと傳ふる者あり（北京電報）

○蘭公使張勳引渡拒絶

支那外交部より和蘭公使に對し張勳氏引渡の件交渉中なりしが同公使は政治犯と認め斷然是を拒絶したり（北京特電）

○提議を聯合審議に

回答は米國を經て送致か

聯合國は羅馬法王の講和提議に就きて聯合審議に附すべく封鎖大臣ロバートソン、セシル氏の言明する所に據れば多分其の回答は米國を經て送致せらるゝに至るべしと（倫敦電報）

○米國務卿講和反對

米國々務卿ランシング氏は非公式に羅馬法王の提議せる講和基礎條件に反對の旨言明せり（紐育電報）

○歩騎兵會場を警衛

二十五日開會さるべき露國々民大會場は從來の經驗に鑑み半個師團相當の歩騎兵を以て警衛することゝなれり（莫斯科電報）

○勞働保險計畫

農商務省にては新に勞働保險を設定す可く計畫中なり（東京電報）

○糖價調節策

（米國）桑港來電に曰く米國政府は爾今紐育砂糖取引所を政府の監理の下に置き糖價の制限をなすため適宜に立會を停止することゝなれりと（大阪特電）

○棉相場變動制限

紐育來電に曰く紐育棉花定期取引所新規則制定せられ日々の相場變動を三百ポイント以内に制限する事となり二十七日より實施の筈なりと（大阪特電）

○群山新米好評

群山の田中、谷兩商店より大阪二三商店へ群山新玄米見本到着せり早刈の爲め多少青米混入せるも品質乾燥申し分なしと（大阪特電）

○菊池男叙位 別報

故菊池博士危篤の報天聽に達するや左の御沙汰ありたり（東京特電）

正三位勳一等男爵 菊池大麓
叙從二位、授旭日大綬章

○田代渡邊兩博士

田代醫學博士及び渡邊工學博士は二十一日午前五時四十分釜山通過連絡船櫻丸にて歸東の途に就けり（釜山特電）

○全南警務部長通過

新任全羅南道警務部長陸軍中佐藤田耕一氏は二十日午前釜山入港陸軍御用船第三琴平丸より上陸同夜十一時發列車にて赴任の途に就けり（釜山特電）

○林軍獸醫正著發

朝鮮駐劄軍司令部附二等獸醫正林里次氏は二十日午後入港陸軍御用船第二琴平丸にて來釜同夜十一時發列車にて赴任せり（釜山特電）

◉測地課の廢止

臨時土地調査局の測地課は去る十五日限り同局事務分掌規程より削除され附任課員の全部は數次の淘汰により全く解職されしも課長技師中田三郎氏以下五名の監査官は未だ免官辭令に接せざるを以て何れ調査局に出勤しつゝあるが不日該局同課員は全く退官すべし

◉定例長官會議

二十一日は定例長官會議日なるより長谷川總督、山縣政務總監以下各部長官、所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合の上正午散會せり

◉通信收入好況

大正六年度に入りて遞信局の歲入狀況は頗る好調にて四五六三箇月間は既に其の通信收入の實計は豫算に比し十二萬餘圓を超過し七月は目下調査中にて確實の數字を知り難きも五六萬圓の豫算超過となり居るべく遞信局としては收入空前の好況を示し居れり

◉軍司令官著期

二十三日午前八時四十分

新任朝鮮駐劄軍司令官陸軍中將松川敏胤氏は二十日午後八時東京驛發途中一泊二十二日釜山著同夜十一時釜山驛發列車にて出發二十三日午前八時四十分龍山驛著公式に著任の事となりたるが秋山大將を東京に見送りたる野津軍司令部副官は東京より隨行し又高級副官竹內榮喜中佐は新司令官出迎への爲め二十一日午後八時若くは二十二日午前八時四十分龍山發列車にて釜山に向ふべし

◉山田少將入京

羅南步兵第七十三聯隊長より今回小倉步兵第十二旅團長に榮轉せる少將山田四郎氏は赴任の途二十日入京二十一日朝龍山軍司令部師團及び憲兵隊司令部を訪ひ挨拶を爲したり

◉石塚總裁發期

東拓總裁石塚英藏氏は近く全南榮山浦出張所管內羅州郡宮三面に出張の筈なり

◉藤田憲兵中佐入京

新任全南警務部長兼光州憲兵隊長憲兵中佐藤田耕一氏は廿一日午前八時五十分南大門著列車にて入京浦尾旅館に投宿したるが午前憲兵隊本部を訪問し挨拶をなせり

◉林獸醫部長就任

新任獸醫部長林二等獸醫正は二十一日午前八時四十分龍山驛著列車にて到著し直ちに司令部に登廳就任の挨拶をなしたり

◉一高生徒入京

第一高等學校高級生二十二名は修學旅行として支那方面見學の歸途同校教授葉山萬次郎氏引率の下に二十日夜入京原金旅館に投宿せるが二十一日朝總督府を訪問し第二會議室に於て山縣政務總監の訓示を受け且つ上田視學官の朝鮮史、國分學務局長の朝鮮教育を聽きたる後朝鮮銀行、景福宮博物館、昌德宮祕苑、中央試驗所等に赴き午後五時半よりパゴダ公園に於ける在京同校出身者の歡迎會に臨めり因に一行は二十二日朝仁川を見學し同夜南行歸京の筈なり

◉徐參與官歸任

忠淸北道槐山郡水安堡溫泉に避暑旅行中なる徐京畿道參與官は廿二日歸任の筈

◉宇都宮氏辭任

總督府山林課技師宇都宮寬氏は病氣の故を以て今回辭任し鄉里小倉に歸養す可く廿二日朝南大門驛發退京の事となれり

◉三島理事滯洛

京都にて腸胱結核の爲め療養中なる三島鮮銀理事は株主總會列席のため廿一日迄に東上の豫定なりしも尚都合により當分滯洛する由

◉日郵の增資防止

原田取締役の東上要務

數日前東上せし日本郵船取締役朝鮮郵船社長原田金之祐氏は其の用向き日郵の增資問題に對する一部株主の主張を防止せんとするにあるやにて從つて其の滯京も永引くべきが十月中旬には朝郵株主總會あるため歸任は九月末若くば十月初めとなるべし

◉鮮銀定期總會

朝鮮銀行にては八月二十一日午前十時より東京銀行集會所に定時株主總會を開き總督府持株の代表者は特に委任を受けて拓殖局書記官入江海平氏臨席銀行より美濃部總裁、中村理事、石井東京支店長、助役等出席例により美濃部總裁は上半の朝鮮經濟並に銀行營業狀況の報告をなし既記の如き決算及年七分の配當案を附議決定し又監事の任期滿了となれる伊藤忠次郎氏後任は同氏重任したり

第拾六期利益分配案

一金四百三十六萬二千三百四十三圓四十三錢	當期總益金
一金二百七十四萬四千三百十二圓五十一錢	當期總損金
差引 金六十一萬八千三十圓九十二錢	當期純益金
外 金十八萬二千三百五十二圓七十七錢	前期繰越金
合計金八十萬三百八十三圓六十九錢	
內	
金十二萬一千八百四十四圓	損失補塡準備金
金一萬三千圓	配當平均準備金
金四萬四千圓	役員賞與金及交際費
金三十萬圓	舊株配當金（年六分）
金二萬八千七百六十七圓十三錢	新株配當金（年六分）
金五萬圓	（舊株再配當年一分）
金四千七百九十四圓五十二錢	（新株再配當年一分）
金二十三萬七千九百七十八圓四錢	（後期繰越金）

◉京城の織機界

京城の織機界は絲價暴騰の爲め夏物最盛時に於て多少混迷の觀あり一時は製織を手控へむとしたる向なきにあらざりしが製品の拂口良好なるより漸次注文殺到せし爲め其の後景氣を恢復し新富殷の擴張に推移せり、從つて例年ならば昨今は多物の開始期なるも本年は冷氣の襲來早かりしに拘らず尚は麻布類の製織を打ち切らざる者多く傍ら多物の準備に移るは尚數日の後たるべし

◉鮮銀の露國派遣員

朝鮮銀行にて特殊の用向を齎らし股野司事を遣露する事となれる旨は既報せしが聞く所によれば同銀行にては目下入京中の哈爾賓支店長阿部讓氏も股野氏と同行遣露の目論見あり目下本店にて切りに諸準備打合せ中なるが都合によりては兩氏の同行遣露を見合はし阿部氏若くば股野氏一名を出張せしむる事となるやも圖られず尚目下滯露中の堤司事は既に其の豫定期間滿了せしに付近く歸任となるべきが氏は露國より英國に向ひ米國を經て歸鮮したき意あり然も目下海上危險にて其の決行困難なるため今後いかなる道程により歸鮮するか不明なるもの如く從つて其の歸期も明かならず

◉秋冷と農作物

今年は春來の旱天甚だしく農作物の影響する所大なるものありしも八月に入りてより屢降雨あり氣溫著しく下低し之を前年に對比するに昨年八月十五日午前六時の氣溫は攝氏二十一度三分なりしが今年は同時刻に於て十七度の氣溫を示せり又二十日は昨年は十八度一分なりしが今年は二十一度四分二十一日は二十二度三分を午前六時に於て示し昨年は二十一度一分七厘を示せるが搗て二十一日朝來の降雨にて秋冷を著しく感ずるものあり右に關し京畿道管內の農作物狀況を聞に目下の冷氣は差程稻作には影響なし陸稻並に日の出類は出穗の盛りを經過して稍垂れ初めの作況にあり而して一般の晩稻は最も大切なる出穗期及び結實期は九月中旬より同月一杯なれば來月に入りて氣溫及び晴降の順調を得れば昨年以上の農作を收むるに至らん又畑作は大豆、粟、其他一般に目下の處昨年以上の豐作豫想なりと

◉南鮮稻作順調

南鮮地方に於ける本年稻作の狀況は植付後旱天打續きし爲め高地は愈よ水不足を訴へ畓面龜裂の個所も少なからざりし模樣なりしも其後降雨適量あり例年に比し暑氣烈しかりしも氣候一般に順調にて早稻は既に出穗したるにより此後の天候に甚しき異變なき限り平年以上の收穫を見るべく豫想し居れり（釜山）

◉宇都宮氏送別會

山林課技師宇都宮寬氏辭任に就き農商工部高等官發企となり二十一日午後七時より淸華亭に其の送別宴を張る

◉雲南獨立と中央

唐雲南督軍は既報の如く段內閣を承認せざる旨の通電を發したるが猶同時に雲南駐在の各國領事團に對しても同樣の通告を發し只だ宣戰案のみは北京政府と同意なる旨聲明せりと雲南の獨立自主は今や數ふべからざるの事實と爲れるを以て中央に於ては數日前臨時國務會議を開きて之が善後策に就き協議を爲し其結果先づ唐督軍に大義を以て勸告し應せざる場合兵力を以てするに決し既に馮總統の贊許を得たりと（北京）

◉廣東政府其後

目下舊國會議員の廣東に集まれるもの五十餘名あり二箇所に招待所を設け更に各舊議員に電報を發して其來集を促しつゝあるが聞く處によれば孫逸仙氏は百名の議員到著せば非常議會を開き臨時政府を組織すべく最初は黎氏を推戴する計畫なりしも黎氏就任の望みなきより別に元首を推戴するの意ありと（廣東）

●奉天獨墺人取締

對獨墺宣戰布告と共に在奉獨墺人等は協議の結果支那法規の制裁に服從するを條件として在留を許可せられん事を張督軍に請願したる旨既報したるが張督軍は之に對し在留を許可するは勿論取締上一箇所に集合せしめ或は特別の拘束を加ふる等の事なく只從前よりは嚴重なる監視を爲す程度に止むべき方針なりと因に省城在留獨人は禮和洋行、隆德洋行、牛乳公司の各主人と外三人計六人にて此內家族あるは只だ一人なりと（奉天）

○張勳を蘭領印度に送る

北京駐在佛國公使は張勳氏を政治犯人として蘭領印度に送るべしと提議せり（北京電報）

○蒙匪洮南に現はる

洮南地方に一千餘名より成る蒙匪の一團現はれ勢ひ猖獗にして漸次南下しつゝあり鄭家屯よりは呉統領部下の兵討伐の爲洮南府に向け出動せり（奉天電報）

○廣東臨時議會開會

廣東に於て二十四五日頃臨時議會開會せらるべく民黨側議員多數各地より參列すべし（上海電報）

◉財政廳長辭任

奉天財政廳長は奉省の財政困難なる爲め到底其任に堪へずとの故を以て曩に辭表を提出したるも張督軍の留任勸告によりて其意を飜したるが近く綏中縣稅捐局長の公金費消事件を探知し同局長の處分方を張省長に申請したる處省長とは頗る親交の間柄なりし局長とて以て茲に縮たくも省長王氏間に意見の扞格を來し爾來諸事意の如くならざるより快々として樂まず終に兩三日前再び辭表を提出したり（奉天）

鳥致院

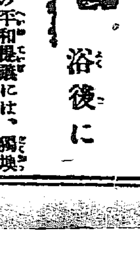
▲澤田課長視察 面制施行に對し鳥致院が指定面たらん事を希望し各方面に夫れ〳〵運動中なる由は既報の如くなるが恰も廿二日より忠南道廳にて開催の郡守主任會議に於て澤田內務部第一課長は該制度實施方に關し講演に出席の序を以て廿一日午前十一時半著列車にて來鳥の上特に鳥致院附近の情況を聽取するのみならず實地視察の上入公の筈なれば鳥致院の指定面たると否とは同課長歸任の後初めて解決さるべしと▲輕鐵許可と市況並に今後 昨年六月以來一喜一憂翼に鳥致院の死活問題と思惟し極力奮鬪を繼續し來りたる輕鐵問題は遂に本紙の報道せし通りなるが市況も之れが發表と共に遽かに活氣を呈し市民は鳥致院の面目一新の機なりとなし益々本問題の進捗に對し萬全を期すべき意向あるもの如し即ち鳥致院對忠北奧地との經濟的關係は日に月に發展擴張し益々交渉頻繁を加へ來りたれば此の勢をして愈々有效偉大ならしむるの方は正に本輕鐵の速成にありとなし勇奮更らに一層速成に向ひて極力運動を繼續すべき方針なりと

淸津

▲淸會線工事進捗 淸會線第四工區は本年天候順調なりし爲め工事非常に進捗し既に殆んど全部竣功せるを以て遲くも本月末迄に引渡しを了すべく而して蒼坪古豐間は多分九月二十日より列車開通營業開始▲稀有の旱天 本年淸津地方は稀有の旱天續きにて茲約二ヶ月間土地の濕潤する程の降雨なきを以て農作物殊に蔬菜類の被害夥しく淸津名物大根の如き播種するも發芽せざるより栽培家は大に悲觀し居れり尚旱害は獨り農作物に止らず植林上にも及ぼし昨年及び本年植樹の樹苗は枯損甚だしく且つ一般樹木の生育甚だ不良なり▲陸軍異動轉補 今回の陸軍異動に依りて轉補となりたる羅南衛戍地山田新旅團長宇野憲兵隊長以下秋山、垣內、目時、中谷、矢內、谷口、渡邊の各上長官及び副官連は何れも十八日羅南出發來淸十九日宮島丸にて各新任地に向へり▲憲兵教育開始 羅南憲兵分隊にては本月十五日より第二回補充憲兵教育を開始せるが候補者は十五名にして步兵九騎兵三工兵二砲兵二なりと▲北鮮日報十周年記念 淸津北鮮日報社にては創刊十周年記念として數島町に宏壯なる社屋建築中なりしが此程竣成せるを以て十九日新社屋に移轉せり

人事消息

▲李炳烈氏（新任慶州郡守）前任地鳳山郡より不日赴任の筈
▲後藤瑞巖師（臨濟宗妙心寺布敎監督）二十一日午前八時三十分列車にて大邱釜山に巡錫三十日朝龍山の豫定
▲砂川眞雄氏（金海貿易商）廿日退京
▲林金五郎氏（東京實業家）廿一日入京巴城館へ
▲宮木又七氏（全南道長官）廿一日朝內地へ
▲渡邊俊雄氏（工學博士）同上
▲田中直通氏（事務官）地方行政事務講習會のため十九日咸南に出張



浴後に

○羅馬法王の平和提議には、獨墺先づ贊意を表するも、交戰各國は贊意を表せず焉。支那の宣戰には、米國は祝意を表して、百臺の自動車を送らんとし、聯合國は例の三箇條の希望條件に對しても、同情を以て協議すべしと。兩々觀じ來れば、面白き好對照ならずや。

○近時米國に、日本四景の語流行すと。曰く嚴島、橋立、松島、之れに大隈侯を加へたるものなり。早稻田島主、果して如何の感ある。米人の觀察亦、奇拔たるを失はず。

○フランダース戰の激烈は、同地が獨逸に取りて、戰略上の要地たるが故也。而も獨軍振はず。外交は不利にして、戰線日に蹙る。獨逸の前途、亦知るべきのみ。聯合國たるもの、此の際奚ぞ講和を急ぐの要あらんや。

百萬圓の阿片取引

▽◇△こんな大規模の罌粟耕作地は他に無い

◇東部滿洲一帶は阿片王國

近來露支國境三岔口、五站、六站等の市場は阿片の取引の爲めに殷盛を極めて居る、此の地方の市場は阿片取引が經濟の基礎を爲し毎年夏季に至れば西國斯德及び哈爾賓等の支那商人多數に入込み五站の如きは年々

◆數萬人の阿片商

支那人が集り來り一年の取引額は七十萬圓乃至百萬圓を算して居る此等の阿片は何處に培養せらるゝやと云ふに實に東滿洲間島及露領に接續せる地方一帶の山地に耕作されて居る何故に東部滿洲地方に於てのみ盛に罌粟の栽培が行はれるかと云ふに第一此地方は僻遠にして人家稀疎なる事第二には一面の森林地帶にして深林中に所々

◆廣漠なる耕作を

爲すも容易に他に發見せられぬ事第三には國境に近く其販賣に至極便なるに由るからである支那政府は國外から阿片輸入された事を極力防いで居るが國內に斯くの如き大規模の罌粟の耕作地のある事を知つて居ても知らぬ振りをして居る罌粟の耕作地で最も著明なるは安圖縣、長白縣、撫松縣、樺甸縣、及び露支國境地方の東甯縣、穆稜縣等を第一とし間島の汪淸縣、延吉縣の一部と琿春縣の一部なども可成盛んに罌粟の栽培が行はれて居る

◆此地方は長白山

の支脈縱橫に蜿起し老爺嶺の森林地帶遙かに滿洲中部に區劃を爲して居るが此の面積何百方里に亘る地帶は一面の阿片王國である安圖縣だけでも罌粟の栽培期になれば三四萬の浮浪者が集まつて來る此等の浮浪人は多くは馬賊を働き夏は阿片の原料なる罌粟の耕作に從事して居る、罌粟の栽培は播種から阿片の取入れまでに僅々三箇月間を要するのみである上に

◆支那人は如何なる刑罰を

禁令があつても刑罰を科せられても阿片の喫飲と賭博とは到底止られぬ國民であるに近來輸入嚴禁となり殊に歐洲戰亂の影響を受けて支那市場に於る阿片の價は戰爭前の十倍餘になつて居るから今後も耕作者は益々增加するばかりであらう以前は露國でも公然罌粟を栽培して支那に賣出して居たが其後露支條約の際に或る利權を交換にて露國政府は露領西伯利亞地方に於て罌粟の耕作を公然禁じたが事實其禁令が行はれて居るや否やは判らない（間島特信）

◆豆腐屋の喧嘩 ドドの詰りがフヤく

平壤内地人豆腐商組合は七月卅一日から一般小形豆腐に改めた爲賣行惡く從來の賣子は賣揚高の二割五分の口錢だつたが諸物價騰貴で生活が出來ぬとて內地人に使はれた鮮人賣子十五名が申合の上賣揚高の三割を貰ひたいと十五名の賣子が組合に迫り同盟休業をしたので豆腐商組合は鮮人の主謀者の李某等を妨害者として告訴し一面賣子に對して三割の値上げは到底能きないと斷りつけたので賣子に於ても餘儀なく主謀者を除くの外從來通り從事することゝなり組合員は再協議の結果李等に對し告訴の取下をしたのは矢張り豆腐屋の喧嘩だけに私刑柔かくなれり

馬賊、富豪を拉去す

巡防巡警六十餘名討伐に向ふ

銃器を携帶せる二十餘名の馬賊團十六日鳳凰城を距ること約八里の帝木溝の豪家を襲ひ多額の金品を強奪せる上主人を人質となして拉去したりとの報に接し即時鳳凰城より討伐の爲め巡防巡警六十餘名を急派したり（安東縣特信）

萬代丸 敵艇に擊沈さる

亞弗利加ボン沖にて＝船員無事

神戸大正汽船會社の萬代丸（二千九百十九噸）は八月十五日亞弗利加ボン沖にて敵潜水艇の爲め擊沈せられたるも船員一同無事（東京特電）

邦人法學士と醫師等 露人強盜に慘殺さる

脫走兵か＝露國官憲に交涉中

久原鑛業株式會社より本年五月西比利亞の鑛山探究の爲め出張中なりし同社員法學士岡山縣人三村達人氏は八月十日頃ニコライフスクを距る五露里の地點にて同行者なる醫師御園生榮氏と共に強盜の爲慘殺されたり我外務省にては本件に關し露國官憲に對し交涉中なり近く詳報發表せらるべし（東京特電）

▼別報 神戸來電に據れば久原鑛業會社より金鑛石採取の爲め東部西比利亞に出張中の法學士一同社員一、露國人馭者一名ニコライフスクを北に距る五十露里の地にて武裝せる露國人強盜（脫走兵か）の爲め悉く慘殺せられたりと（大阪特電）

◇奉天より 鶴田櫟村

五節姫の婚約

御大典の際五節の舞を舞ひたる二條かず子（二〇）は尼ケ崎銀行頭取本咲利一郎氏長男法學士本咲利之助氏（三〇）と婚約成れり（大阪特電）

安東縣の火事

二十日午前一時十分安東縣支那街［illegible］

連絡船上陸客

二十日午前八時釜山入港高麗丸一二等客

中島しづ（同へ）、小川善平、加々見わか、よし、同あさ子、今村武志、同成瑞、同正躬、河田正一、西村平治、矢野不二雄、許坤、同鈴、加藤傑、日比つる、小川安次、森下健作、三輪寧、同政［illegible］

（二等八名、［illegible］）

暴風雨

朝鮮西岸方面に襲來せん

臺灣方面より來れる颱風は其後北々西に進行し同時に進行速度を增したるも中心の示度幾分減じ來るものゝ如く廿一日朝揚子江口に達し七百四十耗內外を示し爲めに東海黃海方面一帶に暴風雨を催せり今後同一方面を繼續す可きを以て支那東岸に沿うて北進し廿二日朝渤海灣に達しそれより滿洲方面に來る可く黃海及び朝鮮を主として西岸方面は廿一、二日は暴風雨を免れざる可く殊に北西地方に影響著しかる可き見込なり（廿一日京城觀測所發）

元平南龍岡郡書記竹中一家 鏖殺事件豫審決定

稀有の大慘事として世人の心膽を寒からしめたる元平南龍岡郡書記竹中勇氏一家鏖殺事件は爾來平壤地方法院鎭南浦支廳に於て豫審中の處去る十八日愈々豫審終結被告五名の內李根豐一名を除くの外は何れも有罪と決定し平壤地方法院合議部の公判に附せられたり其の決定書は左の如し（平壤）

豫審終結決定

平安南道龍岡郡風山面王佛里 農業內職賣助 張乘乾 當三十六年

同道同郡同面同里 面書記 金最喆 當四十九年

同道同郡同面同里 用商 金［illegible］ 當五十九年

同道同郡同面同里 馬夫 韓大俊 當五十一年

同道同郡同面同里 雇人 李根豐 當二十三年

右に對する强盜殺人放火被告事件に付決定すること左の如し

主文

被告張乘乾金最喆金用商韓大俊に對する本案被告事件を平壤地方法院の合議部公判に附す

被告李根豐を免訴放免す

理由

被告張乘乾金最喆金用商韓大俊は大正六年一月二十一日の夜十時頃張乘乾方に於て飲酒中居里竹中勇方に到り強盜を爲さむことを共謀し同夜一二時頃張乘乾方に在りし居牛用の斧を携帶して同家に立越し平素同家に出入し屋內の狀況を熟知し且家人の知遇を受け居る金最喆は表出入口より所用に託して竹中勇を呼出し同人が炊事場に立出るや被告は何れも同所に侵入し張乘乾は竹中勇の手を捉へ韓大俊は後ろより抑して屋外に拉致し家屋西北隅の小路に於て韓大俊は右用意の斧を以て數回竹中勇の頭部を打擊して即死に至らしめ一面溫突內に寢臥せる竹中牛は右物音に驚き炊事場を經へ宅外に立出でんとして炊事場に到るや金最喆金用商の兩名は同所表出入口の障子を閉して外出を妨げ居る際韓大俊は右斧を以て竹中牛の頭部を數回打擊して即死に至らしめ猶溫突內に於て張乘乾金用商の兩名も再び其場に入來り韓大俊は右斧を以て方法不明三女甲子（當三歲）をも殺害し屋內を搜して金員を奪取し一旦其場を引上げたる後同夜三時頃再び同家に立越し罪證湮滅の目的を以て竹中勇の死屍を炊事場內に運び入れて家屋全部の壁に石油を灌ぎ之に放火し家屋全部を燒燬せしめたるものなり

前記事實に對する證憑十分にして家宅侵入の行爲は刑法第百卅條に强盜殺人の所爲は刑法第二百四十條後段に放火の所爲は刑法第百八條に該當する刑法第五十四條第一項後段第十條に依り刑法第二百四十條後段の刑に從ひ處斷すべき犯罪なれば刑事訴訟法第百六十七條に則り平壤地方法院の合議部公判に付すべきものとす

被告李根豐が前記犯罪に加功したりと認むべき證憑十分ならざるに付同人に對しては刑事訴訟法第百六十五條に依り免訴放免の言渡を爲すべきものとす

仍て主文の如く決定す

大正六年八月十八日

平壤地方法院鎭南浦支廳

朝鮮總督府判事 依田弘

朝鮮總督府裁判所書記 淵內新三

老俠客死去す

大阪の老俠客として知られたる小林佐兵衞は二十日午前老衰病にて死去したり享年八十八（大阪特電）

酌婦放火して 逃走を企つ

平北新義州櫻町料理屋松山樓事長野よし方抱酌婦植田つもよ（二〇）は借財嵩み容易に浮ぶ瀨のなきことを悲觀し八月十三日夜逃走を企てたるも旅費金なき爲め同家仲間の伊藤小春（二〇）の現金二圓六十五錢を竊取し更に同じ酌婦なる早崎きよの室に忍び込み燐寸を以て蚊帳に放火し其の騷ぎに逃走せんとせしも蒲團二枚蚊帳一張り（價十五圓）ばかりを燒燬したるのみにて家人等に消し止められしがつもよは即時新義州署の手に逮捕され目下取調べ中

讀者文藝（一等に五十錢相當品 二等以下に郵券）

物は付「引込むものは」

○恥をかいた仲裁（一等） 水原 逃金松の島人

▲新一民地の電話架設 京城 梧堂生

▲鱗の鉤 龍山 岡本生

▲我田へ水 新義州 守公生

▲五十の跡 京城 薫子

▲雨降りの露店 京城 秀［illegible］

電車事故頻々

二十日午前十時十五分頃京城電氣株式會社の義州通行き百十二號電車が黃金町三丁目六十七番地先を進行中黃金町三丁目尹佳漢の妻金姓女（三〇）が飛降りをなし左手首に擦過傷を受け

四氏追悼會

今夏京城府學校組合學務委員なりし故中野有光、第二回學校評議員なりし同校長故五十嵐榮吉、元京城府學校組合學務委員なりし故杉本、［illegible］十九日午後五時より山山町本願寺本堂に於て同校學生及京城仁川公立普通學校職員來會、公立普通學校各校長、［illegible］見一致て安北道黃州公立普通學校訓導三木正登氏の追悼會を營めり

▲龍山行七十七號電車が同日午前十一時頃南大門通五丁目を進行中八判洞の荷車夫李敬成（三〇）が電車に觸れ右眼上部頭部其の他數箇所に稍重傷を負ひ南大門醫院にて應急手當を受く▲又同日南大門通五丁目セブランス病院前にて龍山行電車が線路の小石に乘り上げて脫線し約十五分間立往生▲十九日午前十時頃清涼里より東大門行きの電車が崇仁面新設里安甘橋附近の坂路を進行の際京城府河橋洞村在浩（八〇）なる者線路內にて他の者と談話中警笛に驚きて狼狽し左顏部に裂傷を負ひ鐵路通り共愛堂醫院にて手當を加へたり

同情者より

京城府［illegible］局長一家へ賓客として▲金二圓及び子供産着一襲衣拾四枚外二點龍山鐵道官舍某女▲金一圓南米倉町官舍清水ふさ子▲果物金六圓特品品六點

本能寺（南水標橋通り）

［illegible］の義なる道路鋪道の爲せる、同寺傳道部は來る廿二日定期滿日なるを以て之を見合せ、代ふるに同寺に於て午後八時より左の講演を爲す由『賤賓の一戒』谷村正道師「日蓮上人の人格」如晶尚全師

灯とし頃

▲二十日の夕往來園（中央試驗所北）の詩會は場所と云ひ集つた人々と云ひ蓋し近來の雅集であつた▲とに蓋室詩伯をはじめ各自席上の郎吟を朗詠して流石に朝鮮と內地は古來同文同種の國だと感に打たれたのも興深きことであつた▲就中詩伯のものを魚潭氏（陸軍砲兵正領）が玲瓏玉をころばす如き美音で朗詠すると座にあつた李完用伯がニコ〳〵しながら「實にうまいものだが少々火藥臭いな」と半畳を入れる▲それでは伯のを伺ひませうといふと諾とばかり「乾坤不老月長在」の朗吟を試みた▲伯は少年の時代から名にし負ふ朝鮮の「詩調」の名士、朝鮮の古い情調を味はふて一同頗る感に堪へぬやうであつた▲折柄それではモ一つ新らしい處をやらうと伯にも似合はぬ油の乘りかたに一同何が出るかと待つて居ると突然伯は內地人のやうな聲調で「高樓傾け盡くす三杯の酒、天下の英雄眼中に在り」とあつたので一同ヤンヤと喝采した▲次に座に在つた持地東嶺氏の「チエスト‼」蔵に曰く「チエスト‼」は謂ゆる書生さんの發明に非ず我輩は朝鮮語の「チョッソ‼」（好しい）から轉化したものだと思ふ……も面白いとであつた

課題募集規定

（讀者文藝）

▲募集規程▲用紙は端書又は一葉に限り［illegible］形の洋紙一枚紙上の雅號又は名の外に住所氏名明記の事▲締切［illegible］は一週間後▲種別の［illegible］

暴風雨警報

（廿一日午後［illegible］）

警戒區域平安南北道、黃海道、京畿道、忠淸南北道、咸鏡南道南部、江原道沿岸及び內陸

雜報

綿糸引房す

昨前場半場後場寄付に至り一段不勢たの大阪三品は後場に至り一段不勢となりたるが今前場は當限三百六十七圓先限六十五圓と昨後止めより稍や引返へせり

綿布は龍レー十一圓

三綿十一圓四十錢の入電なり

藥品界混沌

米國禁輸の報を入れて殆恐慌狀態に陷りたる北界も其後右禁輸は或る制限を受くるのみにて絕對的の禁止に

非ざる

［illegible］

大口の買付敢行

［illegible］品薄高［illegible］

形勢混沌たり

［illegible］

軍靴と皮革界

軍靴七千萬足に對する引受け制限は既に夫々決定せしに拘はらず昨年の如き［illegible］

引受け辭退

［illegible］

麥粉手堅し

［illegible］

契約成立

一萬袋の輸出

［illegible］

眼先一引

［illegible］

土管出廻り遲る

次第に時運

［illegible］

建築土工界

擊鮮かならざるべし

下關相場

▲朝鮮白米は依然手堅し、既報の如き形勢の下に昨今實れ行き至極鈍惰なるも何分其後出廻り悉切れたるのみならず產地の如き依然安からぬ相場なる有樣にて［illegible］

仁川期米

▲二十一日前場

兵庫前寄二十一圓四十九錢大阪天候晴天前寄不明なりしも二十一圓十三錢と變らざる模樣にて當地は當限來不申［illegible］五十錢と寄付五十錢高にて先限は十九圓三十六錢と一錢安に寄付たるも後市に新期二十

▲三十六錢と一錢安に

釜山水產市場（二十日）

▲入船數八十四隻

▲タイ二十二圓▲小フカ三圓五十錢▲アヘ一七十三圓▲ヒラメ十四圓▲サハラ十一圓▲イセエビ十三圓▲アナゴ五圓▲タヒ六圓▲メバル八圓▲グチ四圓▲スヽキ十七圓▲ブリ十一圓▲ハモ七圓▲シビ十圓▲雜魚六圓▲水揚高八百九十圓六十六錢

生魚市場

過般の汽車便回復以來各地よりの荷送り順調にて毎日百個內外の廻着ありたれば値頃となりたるが昨日より入荷減じて今朝は五六十個に過ぎず之れ値安のため元山の發送止れるに因る一時の現象なるが大體より云へば各地とも暑氣品傷みのため內地及遠方の輸送叶はざれば專ら當市場に集注し仁川元山の積出し多く統營は一日移り釜山は外積品を撰みて夫れ〳〵充分の供給を爲しつゝあり今後秋冷の候漁獲期迄は當分此の狀態を續け得るなるべしただ今朝は雨天のため荷捌きよからず品薄なるに引かへ値下る京城魚市場相場左の如し

たい一八、さわら一〇、いぼう一〇、やす一三、すずき一三、はり一二、車ゑび四五、あい四五、白かれい二一、小ゑび三五

田中金兵衞商店

朝鮮米賣買並に委託賣買 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長二五八番

仁川米豆取引所

二十一日の十月限

前場

寄付	十九圓三十六錢
高値	十九圓三十六錢
安値	十九圓二十八錢
止め	十九圓四十錢
出來	四萬千九百石

平均値段

一節	十九圓三十四錢
二節	十九圓三十六錢
三節	十九圓三十七錢
四節	十九圓三十八錢
五節	十九圓三十七錢

賣買取組高

限月	取組高	前日比
八月限	一萬千石	二〇
九月限	一萬四千四百石	二〇
十月限	一萬九千七百石	一八安
二十日後場	五萬七千七百石	一八安

限月	
八月限	一九、五五
九月限	一九、三八
十月限	一九、五八
二十日後場	一九、三六

白米標準値

二十三圓五十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 二十四錢五厘

次白 二十四錢

商況

債券現物特電

二十一日出來値

東京市債	七八、五
京城電氣	五七、八〇
朝鮮銀行	一五〇、〇〇
朝鮮殖產	一八、〇〇
南滿鐵道	一四六、〇〇

東京公債直取引（特電）

二十一日出來値

五分利	九六、七〇
五分特別	[illegible]
四分利	[illegible]
四分五釐	八一、六〇

深川在米特電

二十一日現在高

朝鮮米	[illegible]
內地米	[illegible]

東京期米特電

二十一日前場

八月限	二二、一六八
九月限	二二、三一
十月限	二二、九〇
	一三、七〇

大阪株式

二十一日前場

銘柄	持込	前日
宇治川水	五〇、〇〇	[illegible]
京阪電鐵	五〇、〇〇	二八六、〇〇
東洋紡績	五〇、〇〇	一五〇、五〇
合同紡績	五〇、〇〇	一五五、五〇
福島紡績	五〇、〇〇	二八八、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	[illegible]
東洋精糖	五〇、〇〇	二六六、五〇
大阪商船	五〇、〇〇	四二、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	[illegible]
同上新株	五〇、〇〇	[illegible]
堂島米穀	五〇、〇〇	二六五、〇〇
東京株式	五〇、〇〇	[illegible]
東京新株	五〇、〇〇	三六五、〇〇
大阪株式	五〇、〇〇	[illegible]
大阪新株	五〇、〇〇	[illegible]

大阪三品特電

二十一日前場

八月限	三六七、〇〇
九月限	三六五、九〇
十月限	三六四、五〇
十一月限	三六三、一〇
十二月限	三六五、〇〇
一月限	三六五、〇〇

大阪期米特電

二十一日前場

當限	二二、七九
中限	二二、〇八
先限	二二、三四
寄付	[illegible]

下關期米特電

二十一日前場

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

倫躊躇

せる向現はれ來りしは引受値九圓五十錢なるに製品仕上げ値段十四圓四五十錢に當りて此間一圓內外の損失となり且つ該代金の決濟に付ても未だ信ずる能はざる處もあり而して該軍靴の注文は最初二百萬足と唱へられたれば各仕事業者及製靴業者にあつては當時之に近き材料の準備を爲したる事とて關係業者に於ては昨今七十萬足の

處分に窮

せる由にて原皮の類の

殘餘皮革

が爲め引續き沈滯狀態を脫せず此處當分は依然拱手傍觀を持續し斯界の前途は尙混沌として容易に回復望み難き模樣なり

內地炭 愈強硬

九州炭山元は今春來衛闘歩調を維持して次第に騰貴しつゝあるが概して其結果へば三四五月より六月に入りて其漸騰の歩驟は激增し夏期時に迎へて漸次

頓挫傾

向せるべき同鮮內に於ける月中の價格な列擧すれば若松に於ける田川郡產二十種の平均値段塊炭八圓二十六錢にして前月に比し二十五錢同切込炭六圓九十三錢前月に比し二十錢高較手炭十九種の平均塊炭七圓三十三錢前月に比し三十四錢高［illegible］

前年同期より三圓

十八錢高に當り概して

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話一二一、一三一、一四一 振替口座京城四〇三

七八割の高率

となれる門司地方數十の取扱店最近は十五圓の上値にして又た以上はりも十五圓の上値にして又た以上は

移送は甚だ困

難に鮮內より如上諸炭が鮮內［illegible］

釜山穀物（二十日）

平澤白米	六五	叺
平澤白米	六五	叺
沙里院黍	六七	叺
京釜線	五八	叺
水原白米	二三八	叺
平澤玄米	三〇	叺
平澤玄米	二〇	叺
沙川里白米	二七〇	叺

▲正米（保合）本邦大阪定期米は小高く先二十二圓五十九錢との報ありし當市場買思入は依然として精米補充口の買觀きに外ならず本朝は只釜山精米所の買り買とも云ふべくして他は更に買進まず然して相場は要らず保合のまゝ午前中玄米の百俵個の商內ありたり

▲新玄米 湖南線仁產物當地倉市さ商店に入荷あり今市場にては此頃商會九叺五合名會社へ三叺二十一圓にて手合ありたり

南大門の廻穀

▲栗 輸入品拂底にて保合へり

▲栗輸移入とも杜絕ざるが值は變らず斗四升入一袋九圓三十錢處にて保合ひ

▲小豆 赤大玉は品切れ新小豆十二圓二十錢處年小豆は十二圓見當に据り

▲白胡麻 のみは下落朝鮮內產二十六圓五十錢に下りたるが商內益々依然希なし

京城雜穀

定期米の保合なから正米は利喰らず賣入觀強く且つ過般來何乾り出廻りつゝありし中村も昨今前の賣物減の據合ひありて新粟も物に依り多少小高まりの傾きなるが兩入の爲め弱い商內行はれざりき

京城正米

値は買逆み傾たるもの如し然れども元米在何等の［illegible］

▲小豆は先の保合［illegible］

市場雜聞

▲中限の解商內

▲二十一日前場當限出來不申中限十九圓四十九錢五十錢四十錢平均値段五十四錢川澤高ニ六錢▲先限十九圓三十六錢五錢四錢二錢一錢三十九錢八錢九錢三十二錢三十三錢十錢二錢三十三錢［illegible］

八錢と崩れ

再開崩れにも押さず三十八錢と崩れ上げ五錢と押して動かす寄合びして大阪八節一十二錢と高移り に聲呼び 四十錢と上伸 して綜合に押し寄値に押 さ出れ三十六錢と

大商內行

は［illegible］に對し八千五百石の

双方の解商

內にて近來の大取組であり市場の注目を惹けり

依然小高下

近來の天候は朝鮮米に好都合な模樣作王見込が中分なしといふにて從つて期米市場の人氣は又比順系の發生に晒されて免角不勢の不調な脫せざる處に一方正米さして之に伴ひ人氣伸縮の傾きある狀況を示しつゝ居るが而かも今後に於て多少の天候を［illegible］

株式會社仁川米豆取引所仲買人 全 高田仲買店 ●定期米賣買委託 電話長八八 ●一般取引所受付 ●前金保證金注文に紹介人不要 仁川海岸町三丁目 電信略號 電話長一〇〇 電話長一一九

曇り小雨

（廿二日［illegible］）

	京城	仁川
日出	五時二十四分	[illegible]
日沒	七時十八分	[illegible]

獨立した海軍航空隊
主力艦隊と一致行動を取つて演習

「海軍航空隊の偵察又は攻撃は其行動を主力艦隊と一致させることが最も必要である、其が爲め昨年の八月同隊は青森の海上で、始めての聯合演習を行つた處が

◆非常に良好 な成績を得た、其の結果年々艦隊と聯合演習を行ふ必要を認めたので、海軍省は今回新に艦隊航空隊を編成することゝし、其任命を發表した次第である、母艦は新設計のものが

◆竣成する迄 は從來母艦として特務艦の任務を帶びつゝある若宮丸を以て之に充て、乘組員としては司令官に海軍大佐原田正作氏、分隊長として飛行教官山田大尉、飛行將校としては數年間追濱飛行場に練習の功成つて機上の巧者と呼ばれて居る山口中尉外少尉、可兒、坂元、三木並に坂元(晋二)五少尉が之に當る同艦隊航空隊は常に

◆主力艦隊と 一致の行動を取つて演習するのが目的であるから艦隊出動する場合は必ず之に附屬して各方面の海上で演習するので、近く來るべき海軍大演習の豫備行動として某方面の海上で第一次の演習を行ふことになつて居る、此の結果が益々良好であつたならば更に常設の航空艦隊として追つては各艦隊に附屬するに至るのであらう、尤も各艦隊に附屬するものとすれば

◆一隻の母艦 では不足でどうしても數隻の建造が必要であるそして其の艦内には格納庫の樣なものを設けて一々翼の折り疊みをせず急速事に應じて直に出動する樣な構造になるのであらうが其れ迄では餘程多くの時日を要するのであらう」と海軍當局は語つた(東京)

月尾島海水浴場 入場者萬に達す

仁川月尾島海水浴場は開場日淺きにも拘らず各日曜毎に晴天なりしと暑氣盛しかりしと設備の完全なりしため日曜日には京龍方面より續々浴客來り五百以上六七百の入場者あり日曜以外と雖も連日大いに賑ひつゝ有るを以て豫想以上の好成績を收め二三日中には五千枚の入場劵を賣盡し增發行せざる可らざるの盛況なれば當初よりの無料及び回數劵使用者を合すれば萬以上に達す可く當事者何れもホク〳〵の體なり

活動寫眞館へ命令

京城本町警察署にては二十日管內の活動寫眞營業者に對し左の命令書を交付せり

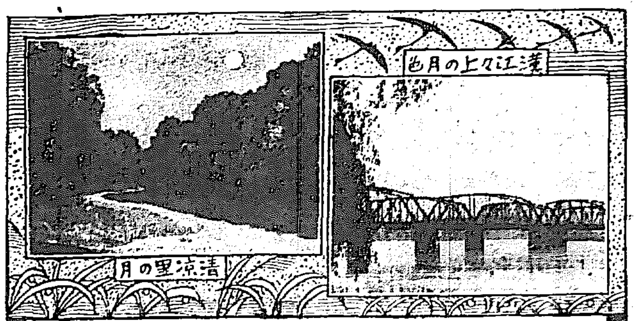
▲興行中は三十分毎に五分間以上休憩し窓を開放して換氣法を行ふべし但冬期は此限に非ず▲興行場前の街路に撒水すべし▲興行場前街路に於ける客引は警察署の指示に從ひ[illegible]

ダリヤの挿木

誰でも容易に出來る是から秋のダリヤが咲く、枝からは又新芽が出て、これに花が咲くのであると思ふから、ダリヤの挿木をしやうと思ふなら此時に行ふ今それを簡單に行ふには、庭の日當りよき所(樹蔭の樣などがよい)を一尺程掘り下げ(幅はよき程)四方より板圍ひを爲し、底に少し砂を撒く、また

◆挿木をする 三寸鉢位の土鉢を十數個用意し、それに底の方へは肥料を交せた軟かき土を少し入れ、上に細砂を鉢の七分目程に盛る更らにダリヤは新芽の節より凡そ三葉程出たものを節近く一寸程上げて少し斜に剪り(剪るのは早朝露のある內が宜しい)二葉若くは三葉を殘し、その上部を節近く剪るそれを前の鉢に挿し如露にて水(汲み立ての水は惡し)を打ち、件の簡易フレームに納め、上に板若くは蓆の如きをかけ

◆數日の間早朝のうちに少しづゝの水を與へる、然らば根を出したものは葉立ち、然らざるものは葉萎れて根の附きたるか附かざるかが分る、そして更に新芽を出して七八寸になつた所を、他の鉢なり地なりに移すのである、秋になると美しい花が咲く、尚ほ注意すべきは、枝の切り口は永く日中に曝して置かぬやうにしなければならぬ、が根を水に濕して近くから、持つてくる事などは差支へない、これも家庭の一小樂事である。



往復汽車電車 廻遊觀月會

本會主催の主旨が月皓き秋初十五の夜を期しての家族慰安淸遊であり升から餘興の如きも ◎郊外活動寫眞 ◎洋樂隊演奏 等の淸楚健全なものを撰みました次第。會期は九月一日の土曜日、晚餐後の午後八時に特發觀月列車は南大門驛發、觀月會場は城東淸涼里!散會後は電車にて任意解散。會費は◎(汽車電車賃共)卅五錢 ◎(滿十二歳以下)小兒廿錢 會員劵は一兩日中發行販布。三枚以上は京日構內電話(二一二番)宛申込みあれば直に配達。猶ほ全市に亙り卅餘個所に委託取次所を設け升

◆◆京の初秋◆◆

七夕祭—六文字—鴨川の流れ—鱧やかな野菜—染物屋—高野川改修問題

◆京の朝夕は最う浴衣一枚では涼し過ぎるやうになりぬ、摘み菜賣の聲を現つに聞きつゝ、曉を知らぬ夢心地の快さ、冷なとした風が東山一帶の裾を撫で亙つて岡崎公園や高臺寺畔の萩が色づく、こうして京の夏は靜に寂しく秋に移つて行く

◆初秋のこの月は京に行事の多き月なり、七夕精靈迎へ盆祭り六齋佛大文字地藏盆『よいさ』『さのや』など風俗の見るべきもの少からずされど大方は文明のハイカラ風に吹き捲くられて多くは行はれず、戸毎に笹を立て五彩の色紙短冊に願ひの文字を認め提灯行燈華やかに吊るし飾る、七夕祭は全然廢れ、六齋念佛も到る處豆太鼓の音を聞きたるが殆ど稀に見るやうになりたり

◆大文字のみは昔に變らず、如意嶽の右大、松ケ崎の妙法、西加茂の船、水尾山の鳥居等、山の左大、悉く點せらる、女の兒は赤きぶら提灯を持ち手を引連なり『さのやの縁櫻盆には何處も忙しや……』と唄ひ歩く『さのや』男の兒は白に紅の定紋つけたる弓張の丸提灯を竹に通し連ねて持ち歩き竹法螺を吹き『よいさッさ〳〵』と囃し歩く子供の飛びの『よいさ』は近年全く見ずなれり、融通の利かぬ學校教育に小兒は皆利に敏く、コセ〳〵と賢くなり趣味の京都はかくして亡び行くなるべしと思はる。

◆利に敏しと云へば京の賢き人々の集れる市會の御連中目下の問題となれる附近市町村の併合に就て自動車十數臺を連ねて視察檢分をなし、蛙共を驚かせりと聞けり、地價騰貴を見越して暗中飛躍とやら一時に儲かりさへすれば後の住民の負擔が重からうが輕からうが更にお構なしの際物師振りは縁日の銀流しを瞠若たらしむ、恐ろしきは市會の賢き人々なり。

◆鴨川の黑き流れは聲ばかりにて未だ何等改修の設計も見わず、染物屋の洗ひ場が限定されたると永久的たるとぐらいが府の働きなり、高野川改修引受問題も三井系が出町鎭先にヂャヂャ張るとか染料成金長瀨某が二十三萬圓の工費を引受たるが條件が何うとか煮へ切らぬ事のみ多く、名高き京の鴨川も潔くは流れ得ぬと見ゆ、紺屋の絞り汁の如くジョビ〳〵と流れ出せるも道理なり

◆只快く鮮けきは近郊の野菜なり、京の茄子の丸煮きは先帝のお好み給へりし處、鹿ケ谷の名物、小芋の落ち子十八さゝげ青唐辛子の甘煮など京の初秋は野の幸に滿ちたり(大阪)

水雷を拾つて賞金

釜山府德仙洞大西六助は去月十四日沿海出漁中魚形水雷を拾得したるを以て其旨屆出で置しが該水雷は大正四年九月佐鎭第一二號の九水雷賞搜索中の失跡魚形水雷なりし趣にて本月十四日附を以て鎭海要港部より懸賞金二十圓を釜山警察署へ送付し來り本人に授與方を依賴し來れり(釜山)

渚の砂

◎遊學調達會 洋畫家伊藤氏の作品六十點を半數頒布する由なり畫は水彩額縁付タツトマン八切大なり希望者は南山町二の一同氏に申込むべし

■お相撲娑者 東京神田區松永町魚商[illegible]の長女ちゑ(一五)は身長五尺二寸體重十八貫といふ大女ながら十八日本鄕區天神町の三浦家といふ藝家に抱へられたとさ

■大尉の娘家出 東京小石川區原町休職陸軍大尉寺西宮三氏長女貞子(一六)は洋學を學び中家庭の事情で學業を止むなきに至つたので[illegible]十四日夜[illegible]

■活動に祟らる [illegible]活動寫眞の活劇と關係して遂に家出した

■本業は泥棒 大阪市南區下寺町堀江ゆり(四七)は三月中東區[illegible]

■稀らしい亂暴者 岡山縣兒島郡味野町松本神左衞門(三九)は[illegible]

■念入れの自殺 廣島縣加茂郡志和森村井口さかゑ(一九)は親兄弟もなく叔母の手に育てられ産婆になる積りで大阪で勉強中世を悲觀したものか十八日大阪から德島に向つた汽船十八共同丸の中で毒藥を仰いで自殺を企てたが果さなかつた所持品中の剃刀を揮つて咽喉に庖丁を突き刺しかけた[illegible]モルヒネ、剃刀等を携へ最後には投身する順序であつたさうな

■一家族全滅 愛知縣幡豆郡平坂村水車業[illegible]方では十七日夜矢作川の河岸に居船が熟睡中火事を起して妻(三六)と子供しづ(一四)せつ(四つ)金一郎(二)の四名は燒死するに至り外にかつ、ひさの二人も大火傷し三郎は助かつたが發狂した

■不孝者殺さる 大分縣日田郡五和村吉田寛藏(二四)は非常な親不孝者で[illegible]寛藏の叔父や從兄其の他親族四名の男が駈けつけて遂に寛藏を絞め殺した

▲海苔巻壽司 愛讀者さんから巻壽司の拵へ方が御所望になりましたがそれは一度本欄に書いた事があると思ひますが[illegible]お壽司の時節にもなつて參りましたですから煩を厭はず掲載する事にいたします 先づ普通のお壽司をお拵へになる時の加減で酢のご飯をこしらへ淺草海苔を焙つて簾の上にのせ其上に前のご飯を適宜にむらなく海苔の前後を程よくあけて布き其中央に干瓢椎茸竹輪を細長く切つた紅生姜其他好みによつて何なりと簾と一緒に手前から巻きます巻けましたら庖丁を水でしめしてくずれないやうに切ります海苔は強い火に遠くからかざし[illegible]兩面をもよく焙られれば味も香りも出ませぬ

演藝案內

黄金館
電話二三六六・二三六七 天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店 八月二十一日より最近の鑑撰特別大興行 ○教訓劇 ○「鹽原多助一代記」全五卷 [illegible]

大正館
櫻井町 電話八七三 ○滑稽活劇「吸込み」全一卷 ○滑稽活劇「珍飛行」全二卷 ○滑稽活劇「雪療治」全三卷 ○新派悲劇 ○舊劇「十一時忠臣藏」[illegible]

浪花館
明治町 電話二六〇 ▲大阪親友派浪花節 ○原晴夢 竹川馬生 京山若圓三合同 ○今回に限り平素の御愛顧御禮として入場料は破天荒…金五錢均一

有樂館
電話(階上)五九七番(階下)二〇五番 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 東京小林商會特約 米國ユニヴァーサル會社一手代理 ▲八月十七日よりの特別大興行 △滑稽『戲の花束』 ▽大活劇『雲間の家』全二卷 ○新派敎訓劇『呪の蛇』全二卷 ◎人情活劇『社會の罪』長尺全五卷 ◎舊派實錄『團七九郎兵衛』全四卷 [illegible]

壽座
京城壽町 電話五七八番 女流浪界の花形 前田八重子一行 ▲武士の意氣 ▲新小說 ▲豊公昇進錄 ▲稻太鼓 ▲松の操 ▲蝶千鳥幼曾我 ▲前席赤穗忠臣錄 壺坂靈驗記 [illegible]

園藝種苗目錄 御申込次第無代進呈 橫濱市中村町廿一 橫濱植木株式會社內國部

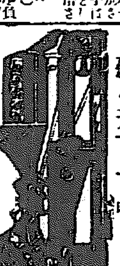
□□□誰でも直ぐに□□□ 大金持 成功 村一名限りの本社特約店となれば此頃の樣な時にも其地方一價でも商品が原價で仕入れられ小資本で出來ます而も忽ちにして大商人となれる 劵封入營業案內書請求なさい 東京神田萬世橋際 日本通商聯絡會社

著しく胃を爽快にする 强胃消化劑 マーゲン 島田藥學博士鑑査 特約店 京城南大門通二 新井藥房 大阪上本町五町目 田畑保藥房

りん病 消渴を自宅で秘密になをす 家傳秘法の妙藥あり同病にて困る方只一劑を試よ切手三錢送れ入助けに其妙藥と自宅療法の詳細を敎ゆ 名古屋市南かじや町 武藤亀吉

花柳病外科專門 ◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病◎婦人病◎神經衰弱ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

原式昇降機付精米機 精米界のレコードを破る天下一品



◎本機械の特長 在來の精米磨擦機はローラー及シャフトを共に一個の合製にて取替誠に不經濟なりしに反し他式にも自由に使用し得る原氏の發明に係る本機はローラー取替へ實に輕便にしてローラーのみを取替へ機械の消滅半額を以てなすを得本機四五台を使用せば一ケ年の入夫費及ローラーの經費二千圓以上の節約を得本機希望特約希望の御方は御一報次第說明書カタロク無代送呈す 朝鮮一手販賣元 釜山本町一丁目 中島機械商會 電話特長九九〇番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎 ★株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番・京城一九三番 振替貯金京城四 銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

酒井婦人病院 京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 電話二一八番・二六〇〇番 入院隨意 院長 酒井一郎

雨具一切 □柳製專賣品トランク □雨合羽防水布引マント □魔法瓶及中瓶取替 □其他旅行用具一切 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

登錄商標 くだりはらの氣持よく止まる 健胃固腸丸 食傷 寢冷 時候あたりから起る下痢と腹痛に第一等藥 藥價十五錢 二十五錢 五十錢 一円 三円 五円 本舖 大阪 谷田春堂 ◎到る處の藥店に販賣せらる

內科 小兒科 入院隨意 京城府龍山元町 柴野醫院 電話二〇四番

優等淸酒

釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店 發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇九番 振替口座四三三九番

市場開業廣告 過日來耀場並に賣店建築中の處今回工事落成致候に就ては委托品販賣開始仕候間多少に拘らず御出荷被成下度敏速こ誠實こを旨こし懇切に取扱可申候間御愛顧御引立の程奉希上候 七月二十六日 平壤果菜市場 電話八一八番

左甚五郎

第四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

三吉は自宅へ歸つて木と鑿を持ちきして遣つて來る 三『甚ちやん是で宜いかね 甚『あゝ宜いとも此方へお出で、サア此處へ型を押してそれを彫るのだから 三『此處かね』三吉の顔を甚五郎が雪の中へズイと押付ける此型を見ては頻りに彫始める、日が暮つて來ると是が段々解けて來て判らなくなる 甚『三ちやん此方へお出で』と臺所へ持つて行つて三吉の顔を雪の中へ突込んで頻りに彫つて居る 甚『さア少し解けて來た、此方へ來ておくれ』と彼方此方へ突込んで

居る、三吉こそは災難で雪の中へ顔を幾度も突き込んで居る、暫くかゝつて漸くの事で拵へた面を見たやうなもの、そこは子供でございますから立派なものとは申かないが、型を取つた故三吉の顔が出來た 甚『さア三ちやん大丈夫だよ、何處へ置いたつて崩ける氣遣は無い、天刑病だの顔が崩れて來たなぞと云はれる氣遣ひはないよ』喜んだ三吉 三『ヤア甚ちやん有難う』と子供のことだから頻りに喜んで其の面を振廻し 三『今度は甚ちやんに拵へて貰つたんだイ道理のが出來た、お前達のは崩れたつて俺のは崩れる氣遣ひは無いや悲しいだらう、俺の面だ』と頻りに皆なに見せびらかして喜んで居る、それを玩弄にして居りましたが、そこは子供で又鬼ごつこだの目隠しだの木登りだと好きな事をして子供同志で遊んで居る、立歸つて參りましたのは三代目内匠、此の人は名乘を雛鑼と申しました、女房はそれへ出迎へ 女『お歸んなさいまし 内『今歸つた、今日はまア仕事が端數になつてしまつたから歸つて來た 女『オヤ然うですか、一と口燗ませう 内『ウム何んでも宜い有合せの物で一杯飮う』と火鉢の側へ座り込んで女房が其處へ膳を持つて參つたから、手酌でグビリ／＼と飮んで居ると 三『阿父さんお菜をおくれな 内『まア能く贅な事を云やアがる。そんなに贅を遣つては叶けねゑ、顔に蚯蚓脹を拵らへて居るが又喧嘩でもしたのか 三『イヽエ彼處の奥の所で顛仆だんだ 内『悪巫山戯をするからだ、其處等を片付けて置け、玩具を投り出して置いちやア叶けねゑ、三坊／＼其處にある面を見せろ 三『阿父さん此面か 内『ウム妙なものだ、是は何んだ 三『阿父さん俺の顔だ 内『何に汝の顔だ』倅の顔を見比べて居たが 内『成程然う云へば汝の顔に能く似て居る、旨く出來た、誰が拵へた 三『向ふの甚ちやんが拵へてくれたんだ 内『甚坊が 三『ウム、自宅の木を持つて行つてね阿父さんの鑿で拵へて貰つたんだ 内『道具箱の物を無暗に持出しちやア叶けねゑ、甚坊が拵へた』と暫くの間内匠が見て居りましたが、感心をして其の夜は寢でしまひ、翌る朝向ふの甚右衞門の處へ女房を使に遣つて 女『鳥渡顔を借りたい』百姓甚右衞門は何か又子供同士で喧嘩でもしたのではないか、棟梁が怒つてお内儀さんを寄來したのではないかしら、と腕拱をしながら參りまして 甚『棟梁さんお早うございます 内『まアお上んなさい、お茶を上げなよ 甚『イエお構ひなさらんで、何か親方さん御用でございますか 内『お前さんが他所へ出歸けてしまうと叶けないから鳥渡來て頂いたんだ 甚『ヘエ何で 内『お前さん處の甚坊だが、猶且百姓にする氣かね、それとも何處かへ奉公にでも出しなさるのか 甚『ハイ、親方何ですか百姓と云ふ業を仕込んだ處が迚もあれじやア駄目だと然う思ひますのですが、あんな奴ですから何になるか別りません 内『職人にする氣は無いかね 甚『親方さん成れますかね 内『成れる處ぢやア無い立派な者になれる。

本町一丁目三越向 電話一〇四七番
齒科診療 野田齒科醫院
齒科醫士 野田應治

勸めする身は このの木村屋の パンかせめての憂さはらし (京城明治町 電二八七〇)

曆

八月廿三日
舊七月六日丁酉
木曜 六白 乾 除 赤口

▲六白● 他人行儀の事有り 新事見合南方は吉略 ▲七赤● 息込よき日轉居入學金件名弘求職引移婚約定期等萬吉 ▲八白● 俸給の日轉居入學求職金件氣急出井戸掘船橋建築等萬吉 ▲九紫● 慌たる事有日新事手控萬事は吉 萬事可吟にせらるべし ▲一白● 親切の日轉居旅行入門名弘求職金件賣出婚約水盃探等萬吉 ▲二黒● 臨の神の御込日轉居開業入門名弘金談鑛山等萬吉 ▲三碧● 氣候さ事有日 新出手控萬事は吉 ▲四綠● 平穩の日なれども勘辨控目の方吉 [illegible] ▲五黄● 利を掴む日轉居開業[illegible]青女子の [illegible] 計るに妙也待人來る

ルーデサック
男用一打 四拾錢 特製六拾錢
女用一個七十錢 特製七十五錢 一圓八十錢 一圓各種 變形參一圓廿五錢 (定價表)
有効保證 淋病梅毒專門藥
淋病梅毒自宅療法 (申込次第進呈)
京城永樂町二丁目交番北
東京ドラッグ商會 本舗

品質本位
しらが染君が代は染法輕便にし一冊分に自然の黒髪の色艶に染まる。本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり
定價特製廿五錢 別製廿八錢
しらが染君が代本舗 東京淺草 山吉商店
關西代理店 大阪市東區備後町 伊藤朝日堂 電話東七四四、一六六 振替大阪三九〇

御婦人一代のお化粧……の内

若奥様のお化粧は

東京でも、大阪でも、淑女式化粧法と稱せられて居る方のお化粧法に殆んどきまつて居ります。即はち

(第一に) 舶來石鹸よりも牛乳よりも遙かに効力な日本名物クラブ洗粉で能く顔を洗ふ。

(第二に) 皮膚の美を養ふクラブ美身ゼリーを襟から顔へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ止め愛用の美身劑クラブ美身クリームを代りに用ひ、指先で能く擦込んでから、羽二重の切れで拭取る。」

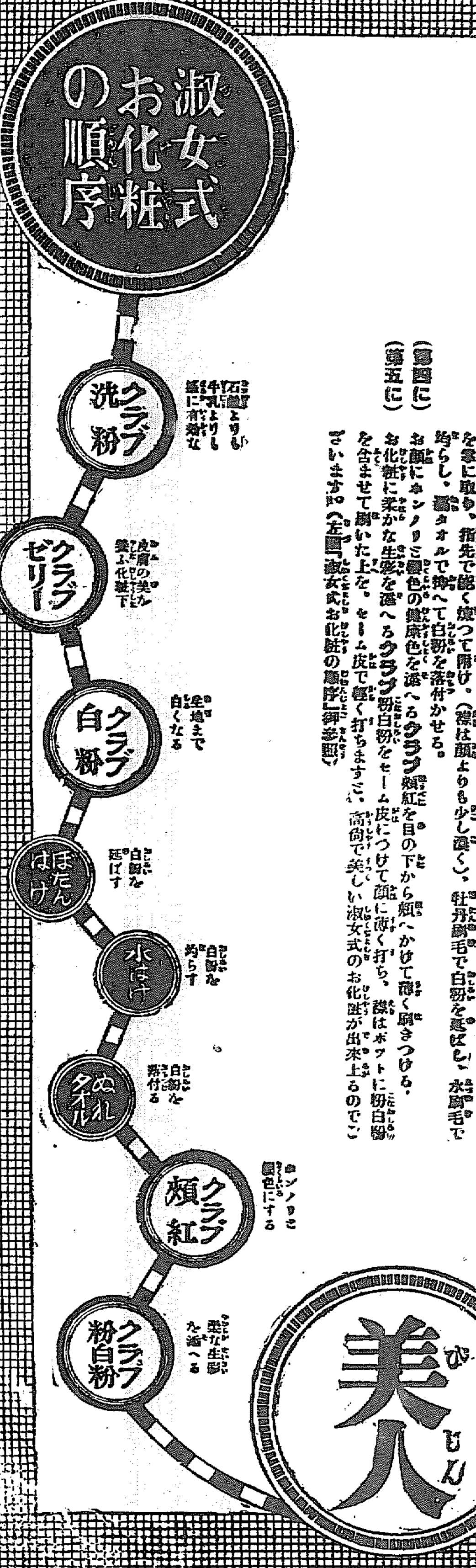
(第三に) 一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉

(生地まで白くなる)

(第四に) を掌に取り、指先で能く煉つて附け、(襟は顔よりも少し濃く)、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で均らし、濡タオルで押へて白粉を落付かせる。

(第五に) お顔にホンノリと櫻色の健康色を添へるクラブ頰紅を目の下から頰へかけて薄く刷きつける。お化粧に柔かな生彩を添へるクラブ粉白粉をセーム皮につけて顔に薄く打ち、襟はポフトに粉白粉を含ませて刷いた上を、セーム皮で輕く打ちますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。(左圖「淑女式お化粧の順序」御參照)



汽車時刻

京釜線 南行 / 北行 — 京仁線 — 同 — 湖南線 南行 / 北行 — 京義線 南行 / 北行 — 同 — 京元線 北行 / 南行 — 平南線 — 兼二浦支線 — 京元線 北行 / 南行

[illegible]

京城日報
八月二十二日（夕刊と合せて八頁）
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

講和問題

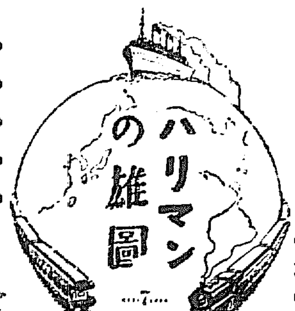
京城日報

今日は世界的大戰役最中にて、今後猶ほ幾年持續すべきかを知る可からざるに拘はらず、最近、講和運動を報ずること頻々たり。其一は各國社會黨の講和促進運動なり、其二は羅馬法皇の講和提議なり、其三は土耳其と協商國との間に、單獨講和交渉開始せられたりといふ風說是れなり。然れども、今日は講和を談ずべき時機にあらず。如何なる講和運動ありとて、何等戰局に影響すべきものなかるべきは、勿論なり。

露國革命以來、同國社會黨内に平和回復を願ふもの寡からずして、種々の名義の下に、戰爭の終結を促さむとするに乘じて、獨逸の社會黨員は陰謀詭計を施して至らざるなし。過日これと聲息を相通せむとし、過日ストックホルムに世界的大會議を開かむとするや、各國の社會黨相率ゐて、此に莅まむとしたるを見ても共同氣相求むる所推して知るべく、英佛伊等の諸國政府は、其の容易ならざる形勢を見て取り、相共に其國の社會黨員の會同を禁遏したるは、亦是れ牖戸を未雨に綢繆するものなり。然れども、今日の交戰諸國に取りて、最も厄介なるは此社會黨なり。彼等は自己の慾求を滿たすが爲めに、何ものを犧牲にするをも辭せず、彼等が常に勞働者を敎唆して、其氣勢を助くるの資を爲すの傾あるは、各交戰國爲政者の、最も憂ふる所ならざるべからず。

羅馬法皇の講和提議は、殆ど年中行事の一とも謂ふべくして、敢て異とするに足らず、法皇の立場としては、此戰局を收拾して、法皇宮の存在を世界に示すの必要あるは、何人も認むるところにして、其成ると否とを問はず、年々一二回、講和問題に觸るゝの姿あるは、恰も之れ、捨石を投じて、徐ろに棋局面の定まるを待つの類なり。世間、或は法皇の提議に對して、漫罵を試むるものなきにあらずと雖ども、是は甚だ當らざるなり。法皇には法皇の地步あり、自己の地步を占むる爲めには、一々其成敗を見るを要せず。但し、交戰者の戰鬪經畫、未だ半ばならざるに先ちて、他より講和を提議したりとて、此に聽くものなきは勿論なり。

羅馬法皇の如く、實に於て、特に其の然るべきを認むるを以て、後日敵味方共に其力の有らむ限りを盡くして、既に戰に倦むに及びて、法皇講和の提議を爲すあらば、必ずや其效を成すべく、交戰國より法皇に求むるところありて、而して後に其事に當らば、平和回復の端を開くは、手を返すよりも易かるべし。吾人は此の如き時機の、何時到來すべきかを知らず、併しながら、今にして其必要を斷定する能はざるなり。千九百十四年末以來、世間數ば單獨講和の說を傳ふるあり、千九百十五年倫敦宣言を以て、協商國が單獨不講和を相約束したるは、即ち斯る懸念の存することを反照するものなり。當初、露獨單獨講和說專らに傳はり、最近、土耳其單獨講和の風說を聽するものあるは、畢竟、其形影を捜索して、其言を爲すものなるべしと雖も、今日の現狀を以てしては、交戰者の或一部が、和を講ずるといふことは殆ど不可能なり。假令之を企つるものありとも、他より之を抑制し、之を妨害するの力亦甚だ大なり。畢竟、單獨講和の行はるゝは、國際的大戰役の最後に於てのみ之を見るべく、戰爭最中には、有り得べきの事にあらざるなり。



△世界一週路　開設の計畫
△滿洲鐵道　買收の運動

◎意外の故障

運命の惡戯か　眞個、ハリマンが夢にも想つた事のない故障が生じた。彼れが收め得たる結果を齎らし、意氣揚々として桑港に向ひ太平洋を航海する途中に、彼れの極東雄飛策が其の豫期だもせざりしところの障碍によつて、不意に梗塞せられつゝあらうとは、神ならぬ身の、彼れも知る由がなかつた。彼れにとりては、歸路の太平洋は餘り太平ではなかつた譯である。而して不意の故障とは何だ。ハリマンが横濱を出帆して既に三日を過ぎた時、日本の外務大臣小村男と高平公使が、ポーツマウスに於ける日露講和談判の結果を齎らして、東京に歸著した。ハリマン氏一行と小村男一行とは太平洋上で東西に行き違つたのである。一方の肯定的立場に在る人の計畫を、一方の否定的立場より打ち毀さねばならぬ一方の人とが、何にも知らずに行き合つたといふ事が、運命の神の惡戯か否か。

外相の反對　兎に角小村男は歸朝した。乃で桂首相は小村外相に例の南滿鐵道日米合辦に關するハリマン桂協定の覺書を出して示したところが、之を一見した時、外相の顏面は俄かに曇つて、此れは困つたといふ表情が漲ぎつた。小村男は徐ろに言つた『かういふ事は到底出來ない相談であつて、日露講和條約の第六條に抵觸する事になる』と外相は明白に言つて退けた。條約の第六條と云ふのは

露西亞帝國政府は長春旅順口間の鐵道及び其の一切の支線並に同地方に於て之に附屬する一切の權利、特權、財産及び同地方に於ける該鐵道に屬し又は其の利益の爲めに經營せらるゝ一切の炭坑を補償を受くることなく且淸國政府の承諾を以て日本帝國政府に移轉讓渡すべきことを約す兩締約國は前記規定に係る淸國政府の承諾を得べきことを互に約す

と云ふ明文である。即ち滿洲鐵道を露國より日本に讓渡するには、支那政府の承諾を得る事が條件となつて居るので、未だ日露間の讓渡問題すら支那の承諾を得ざるに、日米間に滿鐵の協同經營などが、合法的に協定せらるゝ理由は無いといふのが、小村外相の意見であつた。是れは尤もな理由であるが、右の解釋は姑らく別とするも、小村男は此のハリマン桂協定には他の理由よりしても反對であつた。其の反對の趣意と云ふのは、此の協定に對する國内の輿論を慮つたのであつた。蓋し日本の國民は既にポーツマウス條約に對して暴動が起る程に不滿足、と云ふよりは憤慨して居つた。此の憤慨が冷靜に考へて已むを得ざる措置であるか否かは別問題であるが、從つて、若しも、日本國民が、二年に亙れる戰爭に於て、彼等の得たる所の殆ど全部を擧げて、其の政府が之をシンヂケートに賣却したといふ事を知つたならば、國民の憤慨は一層甚だしくなるであらう。何等金錢上の賠償を得る事なくして和を講ずる事は大に不都合であると國民は怒つたのに、況んや、戰勝の結果手に入つたものゝ半部以上を米國に賣却し、而して國民が其の貴重なる貨財と鮮血とを以て購ひたる滿洲の商業勢力地域をば開放して、外國の競爭に委すると云ふ事は、到底日本國民の忍ぶ能はざる所であらう、と云ふのが小村外相の意見であつた。

計畫は挫折す　小村外相の意見は充分の根據があるので、之に對して桂協定も其の主張を貫徹する事はできなかつた。其結果日本政府の滿洲鐵道日米合辦政策は、一週日ならずして一變するの已むなきに至つたのは是非もない事である。されば、斯くの如くハリマン氏の計畫が俄かに齟齬を來したに就ては、日本政府當局に於て、故意に破約しやうとの考は毛頭あつた譯ではない。これは、單に日本政府の一分派が全權を委任されて、獨立に行動し、而して締結せる條約が、之と殆ど同時に行動せる他の分派の決めた事を、無效にしたと云ふ事實に過ぎずして、桂伯は小村男がポーツマウスに於て滿洲鐵道の讓渡を、支那政府の承諾を要すとの條件付きて締約したる事を知らず、一方小村男も亦、露國と會議するに際して、東京でハリマン桂協定が行はれて居る事を關知しなかつたのである。洵に其の場合已むを得ない事であつた。（筆者云ふ此邊の記述はケナン氏の意を傳へたるのみで、筆者と雖も既に故人となれる桂公小村侯の當事の胸中は忖度するに由なし讀者之を諒せよ）兎に角、相抵觸する兩個の約束が在る以上、孰れか一の約束は破棄されねばならぬ事となつた。

往來園雅集（一）

菁堂　結城　琢

大正丁巳秋、余游支那、謁曲阜、上泰山、歷覽長城、遂帀明陵、自燕京還、途過漢陽、徵蓮久芳先生、飛檄諸同人、乃遊於往來園、以開雅筵、此日天朗氣爽、風致淸涼、群賢畢至、冠蓋相屬、既酒酣耳熱、筆無脚而走、觴無翼而飛、亦一時之盛事也、園在城北、雲樹鬱葱、丘壑逶迤、林泉之勝、[illegible]之幽、宛如小仙境、有置身書畫中之想焉、[illegible]、時八月念二日、[illegible]

[illegible]　久芳　直介

[illegible]

同　入

[illegible]

道金剛者石上、余嘗聞金剛山之勝久矣、今次匆々不得訪山遊、願得他日躡先生白雲句、

同雅集席上賦呈菁堂詞伯　一堂　李完用

白頭傾蓋是奇緣、往日相思萬里天、縱使[illegible]、此會詩中眞趣誰能傳、

兩兩心印未必待識面、論交志在希賢、所謂雅集次菁堂詞伯韻賦呈　竹雲　[illegible]

疑名誰再昔年心、相對遊欣好是天、心性一生不學吟、行裝萬里飽風烟、[illegible]

誰（44）

布施生譯

傍で鈴富は最初は呆顏に聞いてゐたが段々話の本末が分つてきた、分ると共に今迄は分らなかつた樣々の事柄が、宛然雲間を破つて月が漏出た瞬間同樣判然と心に映つた。つい昨日拾つたばかりの美那子の破手紙も意味が讀めた、同時に八島が飛んだ惡漢である事も分つてきた。何の意味もないやうに見えた幾千の事實が一々に意味あるものとなつて心中に映つた。

蠶屋御者は話を續けて『昨日夕飯が濟むと宛然見合でもするやうに粉飾込んで旦那は保部樣の奧樣の處へ往つたんです。』鈴富は驚いて『へね厚かましい、あんなに頭取と喧嘩しておきながら。』御者は頓着なく話を進めて『そして夜中過まで居りましたぜ、私はお陰であの大雨にびしよ濡さ、其處でも主人餘り良い目が出なかつたと見ゑ、歸つて馬の始末をして私が主人の部屋へ御用はございませんかと尋ねてゆくと、主人の奴恐ろしい權幕でね、まるで私が泥棒でもするやうに怒鳴りつけるんです、さあ今日もまだ御機嫌が斜なんですよ。』

『蠶頭八島がね、いや此奴は又此奴で何か怒々と怒てやがるんですそして主人の部屋へ通るといや早大變な喧嘩が始まりましたぜ、主人は八島の胸倉をうんと緊付たんです、すると八島の奴懷中から短刀を出して振廻しやがつてね、何喧嘩はそれでお仕舞でさ。』と壽廬老人が聞くと壹屋は口惜しそうな顏をして『それがね、面目ないが英語で話しておるんです、私にや分りつこはありませんや、しかしどうやら金の事だらうと思ふんで。』

『どうして。』『なあに其れ〱と云ふ事が何度も耳に這入つたからさ。』『マア何にしたら私だつて知つてますさあ、それから暫時すると二人は英語をやめたが、其時はもう喧嘩が濟つて今度は何處へ往つたと云ふ譯で、八島が夜分に夜會の話をして居ましたつけ。八島が暇乞すると主人は、いゝかい、お前は今夜もう仕方がないからな、お前は今宅に居れよ。と云ふと八島は默頭て居るとも、と申しやした。』

店は此時段々と立込んできた、良い沙合に蠶屋が歸ると引違へに這入つてきたのは蠶尾であつた、彼はひどく興奮してわく〱しながら先づ鈴富に目禮し、それから急いで懷中から書物を一冊取出して壽廬老人に手渡した『どう〱鑑標が戶棚の中から看附けて下さいました。』老人は取つて中を改めると、おや〱、中には處々文字を截取つた跡がある、一昨日鈴富宛に來た怪しい手紙は此截抜文字を貼つたものに相違無い、老人は獨で點頭き『多分そうだとは思つたが、之で愈々證據が揃つたわい。』言ひながら其書物を鈴富の前に押遣つた、鈴富は受取ると忽ち眞蒼になつた、それは見覺のある禿謝集である、しかも自分が買つて贈物にした記念の品で表紙裏には『一月十七日』と書いたのさへ見ゐる、鈴富は餘りの驚に吾を忘れて『何だ、こりや栞さんのぢやないか。』と叫んだ。

雜詩抄

◆男女の厄年（スコアブル）　男の四十二歳と女の三十三歳を大厄年として世人は恐れてゐるが、富士川博士の說に據ると、四十二は『死に』に通じ、三十三は『散々』又た之を乘ずれば『三三が九』となるので『途の苦』に通ぜしめて忌み嫌ふのであるが、悲慘の迷信であることは統計上厄年に死んだ人は普通よりも多いといふ結果を見出し得なかつたと。

朝鮮銀行

第拾六期決算公告（大正六年上半季）

貸借對照表

負債	金額	資産	金額
資本金	貳〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	拂込未濟資本金	七、五〇〇、〇〇〇、〇〇
諸積立金	壹、五四八、壹五六、〇〇	政府貸上金	七、五〇〇、〇〇〇、〇〇
銀行券發行高	參九、八九參、七八〇、〇〇	定期貸	四、九四五、四四五、〇〇
仕拂手形振出高	壹〇〇、七貳〇、〇〇	通知貸	壹、參貳五、五〇〇、〇〇
政府貸下金	壹、貳〇〇、〇〇〇、〇〇	當座貸越	五、六五五、〇八〇、九四
諸預り金	四七、五參參、壹九八、參〇	割引手形	參四、六參參、六六七、九九
仕拂爲替手形	壹四五、九壹八、六貳	荷爲替手形	貳九八、六四六、五貳
借入金	參、〇〇〇、〇〇〇、〇〇	買付爲替手形	壹、壹七九、五貳九、〇貳
賣爲替	八九〇、四〇參、六七	別途貸付金	壹〇、七六參、六〇〇、九七
他店ヨリ借	壹、五壹九、七五六、八參	預ケ金	參、五六貳、壹八壹、參四
松田銀行部借	貳貳貳、壹〇五、參八	假拂金	參、五貳參、貳五
本支店未達勘定	壹貳壹、六六四、八九	買爲替	貳、六九壹、〇六八、四參
仕拂未濟配當金	壹八、參〇五、九七	公債及證券	壹貳、壹壹貳、壹〇貳、壹壹
前期繰越金	壹八貳、參五貳、七七	他店へ貸	五、五七八、〇六貳、九四
當期純益金	六壹八、〇參〇、九貳	松田銀行部へ貸	壹、〇〇六、五六五、參五
		地所建物什器	貳、九壹參、〇七〇、壹七
		新築費	壹、五參五、參參
		外國貨幣	六五、四四參、參參
		地金銀	壹、〇六〇、〇九九、〇壹
		金銀有高	壹四、壹九九、貳七壹、六五
合計	壹壹六、九九四、參九參、參五	合計	壹壹六、九九四、參九參、參五

損益勘定

一金四百參拾六萬貳千參百四拾參圓四拾參錢　當期總益金
一金參百七拾四萬四千參百拾貳圓五拾壹錢　當期總損金
差引
金六拾壹萬八千參拾圓九拾貳錢　當期純益金
外
金拾八萬貳千參百五拾貳圓七拾七錢　前期繰越金
合計金八拾萬參百八拾參圓六拾九錢
内
金拾貳萬壹千八百四拾四圓　損失補塡準備金
金壹萬參千圓　配當平均準備金
金四萬四千圓　役員賞與金及交際費
金參拾萬圓　舊株配當金（年六分）
金貳萬八千七百六拾七圓拾參錢　新株配當金（年六分）
金五萬圓　舊株再配當金（年壹分）
金四千七百九拾四圓五拾貳錢　新株再配當金（年壹分）
金貳拾參萬七千九百七拾八圓四錢　後期繰越金

右之通ニ候也

大正六年八月

朝鮮銀行
總裁　美濃部俊吉
理事　三島太郎
理事　木村雄次
理事　大田三郎

前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ認ム

監事　伊藤長次郎
監事　服部金太郎

生徒募集

甲種程度　私立松本商業學校
一二三年生補欠　願書九月十五日限
廣島縣賀茂郡西條町

朝鮮總督府

一、クレオソート注入木材
右詳細ハ八月二十二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

齋藤齒科醫院

京城旭町一丁目三番地（電話一四一四番）
豫而上京齒科醫學研究中なりし齋藤鶴雄儀今般歸鮮の上診療仕候
院主　齋藤英壽
齒科醫學士　齋藤鶴雄

堀内新泉先生新著　當世百道樂

四六判　定價一圓　美裝　送料金八錢

◎著者獨特の奇警の觀察は現代の道樂を解剖し或は大に獎め大に戒め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむる大文字　深く強く現代を諷刺し痛快に覺醒せしむる近來稀有の快著也

（内容の大略）書畫骨董道樂　カフェー道樂　芝居道樂　女中道樂　浪花節道樂　[illegible]

賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

財團法人　電氣學校

電氣化學科特設（夜間）
生徒募集　豫科一期、二期、本科一期、二期、選科、高等科
校外生　講習生（特殊の通信教授　普通の通信教授）
東京市神田區錦町　電話本局七九八五一三〇
豫科講義錄完成

最も收益多き農家園藝家副業の手引　藥草と染料植物

農業世界增刊（内容一斑）
（一）栽培すべき藥用植物（十八種に就て性質、效用、栽培法等を詳述す）
（二）野生する藥用植物の主なるもの（約百五十種に亘り効用及採集上の注意を記す）
（三）染料植物（二十種の性質、栽培法等を說く）
定價金二十錢　博文館

活動寫眞　好季節來る　勿見逃此の珍寫眞を

第二回　ニコニコ大會

△米國キーストン會社特作品
吸込み　全二卷續き
珍飛行　全三卷續き
雪療治　全三卷續き
世界一流の喜劇役者が愈々出て傍若無人の滑稽振り是非御淸覽を乞ふ

─△特別番外大寫眞▽─

△日活會社秘藏の大寫眞
△松之助自慢の大撮影
舊劇　十二時忠臣藏　全六卷續

實錄義士銘々傳に基き新に脚色したる稀有の本寫眞は義烈なる四十七士が討入當日の悲壯なる出來事を十二刻に分ち新に試みたる新趣向の大寫眞

▲午前六時卯の刻　[illegible]
▲午前八時辰の刻　[illegible]
▲午前十時巳の刻　[illegible]
▲午後零時午の刻　[illegible]
▲午後二時未の刻　[illegible]
▲午後四時申の刻　[illegible]

教育資料として特に學生諸君一覽の價値あり
入場料特に普通
八月廿二日より開演
大正館

○青島民政實施 民政長官には秋山參事官任命か

青島は占領後陸軍大臣の直轄に屬し軍司令部を置き軍政を布き民政及び濟南鐵道を統轄し青島軍司令官其の任に膺り來りしが今回官制の改正と共に軍司令部は專ら外交軍事を掌る事とし新たに民政署を置き行政及び鐵道を掌理せしめ前者は外務陸軍兩大臣の指揮を受け後者は內閣總理大臣之を直轄して施民行政の統一を實現すべく目下民政長官の銓衡中なるが多分朝鮮總督府參事官秋山雅之介氏任命せらるべく右新官制は八月下旬發表せらるべし（東京特電）

○獨逸講和贊成明言

ペルンよりの報道に據れば獨逸は羅馬法王の講和提議に對し贊成の旨を明言し尚墺國は何時にても平和商議の準備ある旨を宣明せり（桑港電報）

○獨逸半官報の不滿

獨逸半官報は羅馬法王の講和提議に對し不滿足なりと聲言せり（倫敦電報）

○支那軍隊派遣か

支那各省の舊式軍（全部百六十餘萬人）を歐洲戰場に派遣すべしとの議支那政府の問題となり段祺瑞氏の如きは大に乘氣となり佛國公使は最も贊成し居れりと傳へらる（北京特電）

○蒙匪軍七千餘騎南下

奉天の東南方に現はれたる蒙匪軍七千餘騎は次第に南下を策し其の一部隊は公主嶺の北方懷德縣に到着し形勢觀望中なりとの報あり（奉天特電）

○米國小麥供給不足

米國食糧監查官特許局の公報に依れば聯合國及び中立國に對する米國の小麥供給高は其の需要高よりも四億ブッシエル不足にて小麥以外の穀類に至ては多量の剩餘あるを以て米國人は小麥の消費量を減じて他の穀類を多量に使用せんことを勸告すべしと（華盛頓電報）

○社會黨員出席不干涉

露國政府はストツクホルムに於ける社會黨大會に露國社會黨員の出席を拒まざる方針なりと觀測せらる（露都電報）

○開戰後の獨軍死傷

開戰以來の獨軍死傷者數は四百五十萬人を超え最近七月中に於ける死者のみにても九萬餘人に達したり（路透電報）

○祭粢料御下賜

天皇皇后兩陛下には故菊池大麓男生前の功勞を思召され二十一日祭粢料金三千圓御下賜の御沙汰ありたり（東京特電）

○奧田市長薨去

新たに男爵を授けられたる東京市長奧田義人氏は豫て胃癌に罹り三[illegible]學博士の診察を受居りしが廿一日重態に陷り同夜遂に逝去せり（東京特電）

故奧田義人男

【附記】東京市長正三位勳一等法學博士男爵奧田義人氏は鳥取藩士萬延元年六月十四日鳥取に生れ明治十七年東京大學法學部を卒業し太政官御用掛となり爾來幾多の要職に歷任し後宮中顧問官に任ぜられ第一次山本內閣成るに及び入閣して文部大臣更に司法大臣となり同內閣瓦解と共に再び野に下れり是より先き明治四十五年貴族院議員に勅選せられ後ち東京市長となり本年八月十四日男爵を授けらる享年五十有八、前途猶ほ頼むべき身を以て溘焉白玉樓中の人となりしは切に惜むべき事也

○神戶商船昇格

神戶市川崎芳太郎氏の創立經營せる商船學校は今回百廿萬圓を投じ專門學校令に據る商船學校に昇格すべし（京東特電）

○農安石油

滿洲農安（長春の北）地方[illegible]ガソリンランプと[illegible]

（以下左端破損のため一部のみ判讀）

……及び帽牌の各七百五十箱に……相場は左の如し 卸相場 一箱に付 小賣相場 一箱に付……

……春城內に支店を置き各其販路の擴張……內外夏季は五、六吊文なるがスタンダード及び亞細亞石油兩社共に長……無の狀態にあり此際從來輸入なかりし邦油の勢力を扶殖するは最も妙なる可し（長春）

観瀾亭雜俎

蘇峰生

○人の一生は所謂る行路難乎、否乎。難しと云へば、明日をも知れぬ吾身也。されど易しと云へば、寃家路狹、自然の運行に一任して、碍げず、鑿せず、鰥魚女曰く「也不難、也不易、飢來喫飯、困來睡」何等の好言語ぞ。

○自から好んで難を求むるは、好事の徒のみ。されど故らに易きに就くも、亦た必らずしも、處世の要を得たりとは云ふ可らず。險夷踏み來りて、斯志を渝へざるもの、始めて人生の塡諦を、會解したりと云ふ可きのみ。

○曾て五雜俎を讀むに、吾獨喫王文成伯安、內激二性命一外樹二勳猷一「戚大將軍元敬、南平北討、威震二夷夏一」「汪少司馬伯玉、錦心繡口、旗二鼓中原一」而令不レ行二於閫內一、『將常落二於女戎サ心一以二百鍊之剛一化作二繞指一也、亦可レ怪矣。

是れ道學先生の王陽明も、倭寇退治の親王戚南塘も、文壇の雄將汪道昆も、何れも家庭的艶魔に辟易したるを、語れるものにあらずや。

○されど細君の跋扈は、希臘の哲人蘇氏と雖も、免る能はざる厄難たりし也。豈に獨り王陽明のみを咎めん哉。近くは故井上世外侯の如き、陸奧宗光伯の如きも、外に向うて萬夫不當の勇ありしも、內に於ては、所謂る對內軟の美德を、發揮したりしと聞く。而して斯る現象は、現在に於ても稀有にあらず。一硬一軟、是亦自然の乘除なる哉。

○鮮銀總會

朝鮮銀行にては二十一日午前十時銀行集會所に第十六回通常株主總會を開き美濃部總裁議長席に著き當期成績の報告を爲し次で諸計算上の承認を求め利益分配案を可決し終りて伊藤監事任期滿了に付き後任選擧の件を協議したる結果重任に決し十一時散會したり（東京特電）

○軍司令官通過

松川新任朝鮮駐剳軍司令官は二十一日午前桃山御陵を參拜し同午後八時三十分發列車にて赴任の途に就たり（大阪特電）

○間島財界近狀

間島龍井村を中心とせる財界の近狀を聞くに七月和句滿洲の防穀令は間島を解禁したるに付粟の北鮮輸出開始され且つ農作は頗る豐饒の見込にて內地より小麥の註文の如き頗る入り込むあり又輸入界は棉糸布內地に於て奔騰し反つて間島の値頭下位にあるに至りしを以て商人中思惑買ひを試むるものあり旁々資金の需要は夏枯期なるに似ず多忙なりし又浦鹽の取引を生命とする琿春市場は露貨の大暴落並に露貨禁止等のため非常の大打擊を受けしも猶ほ錢商のため小洋錢官帖等商館を維持され漸く稀關を調節しつゝあるものゝ如し尚ほ稀有の銀塊相場暴騰は地方の購買力を增進し且つ天寶山銅鑛の事業擴張の結果勞銀の撒布少なからざるものありために龍井村市場の如く頗る比較的活況を呈しつゝありと

○鐵嶺以北復舊

滿鐵本線鐵嶺以北は水害のため兩三箇所徒歩連絡を取れる所ありたるにより貨物小手荷物等の取扱を一時停止せるが十九日線路假修理竣成せるにより平日の如く旅客及び貨物を取扱ふに至れり

○政務總監歸省

山縣政務總監は二十一日午後七時五十分南大門驛發列車にて鄉里山口縣に歸省したるが其の序を以て東上するや否や不明なりと

○京畿秋蠶豫想

京畿道管內秋蠶は蠶種の掃立七月二十六日に始め八月二十日に全部の終了を見たり蠶種掃立枚數は八千六百八十五枚（內地種）にして一昨廿日現在に於ける蠶兒の發育を聞くに蠶兒の發育狀況掃立當時は過度の高溫に接したるもの多かりしも爾後時にして氣溫調和となれるを以て擬して良好なり而して桑葉も降雨の爲め伸長佳良にして不足なく收繭豫想高は千八百五十石にして昨年秋蠶收繭實收高一千二百四十石に對比すれば五百餘石の增收見込なりと

○內地に於ける鮮人勞働者 双互の間極めて圓滿に推移せり

總督府事務官 本岡榮次郞氏談

裏日本橫斷航路就乘の序を以て近畿方面に於ける朝鮮人勞働者狀況を視察せる本岡事務官の歸來談に曰く、兵庫縣下並に大阪府內に居住せる朝鮮人勞働者數は大約一千八百名を算し各方面の勞役に從事し居れるが其の內男子は飴賣最も多く大阪の如きは其の數八十名を下らず彼等は所謂大元締を有し夫が指揮下に日々府內各方面に行商しつゝあり、之れに亞ぐは仲士及び土方にて紡績、燐寸工

▲其他の工場 にも亦た相當の數を見る、然れども彼等の多くは現下職工に非らずして雜役に從事せり又た女子は悉く紡績工を勤め其の大部分は大阪の福島、明石の攝津兩紡績會社に在り就中攝津紡績には百四十名の多數を占め居れり、而して兩社とも悉く之を寄宿舍に收容せるが其の待遇は內地人女工と何等の懸隔なく朝鮮人女工側に在りても亦た頗る滿足せるものゝ如く嬉々勞作に從事しつゝあり予が參觀當時は恰も休日なりしことゝて操業の模樣は觀察し得ざりしも彼等は

▲元氣頗る旺盛 にて血色の如き何れも極めて良好に見受けられたり、同地方に於ける朝鮮人の勞銀は彼等の職業及び年齡に依りて非常の懸隔あるも大體に於て男子は一日三十五錢乃至六十錢の間なる可く女子は當初見習として一日十八錢以上二十四錢內外までの賃銀を給せられ四五個月を經て一版の女工たるに至れば其の出來高に依りて日給に多寡を附す多きは四十五六錢より少きも二十四五錢を下らず、而して男子は總て下宿生活を營み

▲一日の食費 間代等に二十三錢を要するのみならず小使等の使途多きを以て現下は左したる貯金者なきも女子は寄宿舍費に九錢を徵せらるゝに止まり且つ小使錢の如きも多額を要せざるが故に相當餘裕あり十三箇月間に百餘圓を貯蓄せるものありといふ、內地に於ける朝鮮人勞働者の現況は大體如上の通りなるが使用側の意見を聽くに男子は總じて內地人に比し遲鈍にして且つ力量乏しき缺點あり、女子も亦た物覺え鈍く操業遲きも可憐且つ極めて從順なる長所あり、又た

▲言語の不通 男女共通の短所にて遲鈍といふも之に因るもの多きものゝ如く此の點に就きては最も不便を感じ居れり、されど鮮人殊に其の女子に思鄕病者なきは不思議の現象にて內地人女工の如き常に初め三日は思鄕の念に堪へざるを普通とするも彼等は渡來當時より些も此の傾向なく又た女工の風紀は極めて善良にて未だ一度も忌はしき風評を聞かず且つ內地人女工との折合も頗る圓滿なるは感心の至りなりとの事なりき、風俗慣習を異にせる彼等の事とて使用者側に多少の不便あるは免れざる所なるが狀況斯くの如くなるのみならず鮮人側に於ても齊しく滿足し從業せる模樣なるを以て鮮人勞働者移住の可否は姑く措き双互の間は將來圓滿に推移す可く內地在住鮮人勞働者に取りては極めて好都合なる可し

○咸北牧羊成績

咸北道に於ける緬羊飼養成績に就て聞くに緬羊は對岸支那琿春地方にては盛に飼養され其成績も優良なるより一葦帶水の本道にして氣候風土の關係亦彼地に酷似するが故に緬羊の飼養は左迄困難を感ぜざるべく是非之を奬勵せんとは道に於ける

▲多年の懸案 なりしが恰も大正四年七月水原勸業模範場より種羊の緬羊購入方道廳に依賴ありしを以て北韓道廳より出張の技術員に依つて同地の牝羊四頭牡羊一頭を輸入し之を鏡城農業學校に預托し飼養せしが更に北道に於ける緬羊飼養の矢なり更に五年三月には五頭を輸入し鏡城普通學校に預托し又た本年三月四頭を輸入し慶源郡に預托飼養せしめしより今日にては

▲頭數十六頭 に達せり鏡城にては仔羊產れしも犬の爲め咬み殺されしが慶源郡の分は三頭出產何れも健全なり緬羊は飼養上格別の注意を拂ひて飼養せる結果羊體健康にして一回の病氣に罹されし事なきも今春鏡城に於てエソフアゴストームコンビアヌーム寄生蟲の爲め四頭斃死せり他の緬羊に對しては驅蟲藥を施して

▲撲滅を圖る と共に羊舍の消毒的大清潔法を勵行せる結果其後の發生を見るに至らざりし飼料の主なるものは野草にして夏は青草を與へ冬は乾草として與ふ其他少許の穀類を與ふれば可なる狀態なるを以て飼養は簡單なるのみならず牛一頭の飼料は緬羊十頭の飼料として充分なりとし之を價格にすると夏季一日二錢冬季四錢にて足れり尤もコハ一々購入するものとしての計算にして田圃に於ける副產物及び庖厨の廢棄物等を以てせば一文を要せず

▲經濟的に飼養 するを得らるべし剪毛の回數は所に依りて異るも本道は氣候寒冷なる關係上年一回の刈取に止め居るが昨年の成績は左の如し

	頭數 最多	量 最少	頭數	全毛量（貫）	價格（圓）	剪毛期
鏡城	四五	三〇	六	一九五	八、二〇〇	七月五日
慶源	三三	一五	一	一四	七、七〇〇	六月十日

剪毛は何れも千住製紙所に送付の上賣却せり以上は咸北道に於ける緬羊飼養の成績概要なるが土地高燥にして草生地に富める北道の如きは農家の副業としても充分利益あるものなりと（清津）

○露貨稍昂騰

政局安定戰線軍隊秩序恢復經濟界不安除去等露國前途に橫りたる暗雲漸次薄らげるにより露貨も亦信用增加し十六日以降日貨百圓に付二百七十三留なりしが十八日より二百六十七留に變更されたり同國募集中の公債應募總額發表せられなば尙一層昂騰を見るに至らん

○石塚總裁出張

石塚東拓總裁は關屋土木課長小池參事を帶同し二十五日朝南大門驛出發榮山浦、江景各出張所管內視察を兼ね宮三面の水利工事竣成式羅岸里開墾工事竣成式等に臨席の爲め出張することゝなりたるが旅程は約一週間の豫定なりと

○龍居秘書役通過

滿鐵東京支社詰滿鐵秘書役龍居賴三氏は二十二日夜南大門通過大連へ赴く可く尙鐵道院秘書岩永氏も同行すべしと

●鷲尾總務課長出張 滿鐵京城管理局鷲尾總務課長は沿線視察の爲め二十一日午後八時龍山驛發南鮮地方に出發したるが京釜湖南兩線を視察し本月末歸任の筈

○秋季釋奠期日

經學院秋季釋奠は九月二十二日午前九時より文廟に於て執行する事に決定せりと

人事消息

▲八田三喜氏（第二高等學校教授） 二十一日夜入京朝鮮ホテルへ

▲神田勇氏（廣梁灣製鹽所長） 二十一日夜廣梁灣に歸任

▲木村林次郞氏（三菱社員） 二十一日朝退京鎭南浦に向へり

▲中西次治氏（北京貿易商） 二十一日夜入京金旅館へ

百聞百種

戰時の歐米諸國を視察する人は百人百樣の面白い觀察談のお土產を持て來る▲佛國が驚くべき高價でぜいく英國から石炭を買入れてるのは▲如何に必要とは云へ之れは何うしたものかと不審に思つた▲處が在佛英軍陣地へ行つて見ると▲妖艶な佛國美人が頻りに後方に出沒して▲其の怪腕を揮つて居るので▲成る程之では高い石炭を買つても差引損はなからうと思つたとは某海軍少將の觀察談▲之れなども差し當り振つた奇拔な觀察だらう▲米國行きの代議士連の顔も揃つたらしいが▲連中の洋行中には得て仲間喧嘩が能く持ち上るが▲今度も太平洋の眞中で一と騷動起らねば好いがナア▲扨て一行の顔觸れを見ると團長が暹羅皇族の政尾君で年長者の山根正次君が副團長株▲其れから中年增の望月小太郞君や少壯組の植原悅二郞、島田俊雄君なんぞ口舌の猛者共が控へて居る▲果して正副團長の節制に甘んずるや否や餘計ながら心配もないではない▲何れ面白い珍談のお土產が澤山であらう

公告

關東都督府巡查募集

採用試驗ハ來ル九月壹日京城ニ於テ施行ス志願者ハ左記ニ依リ朝鮮總督府警務總監部（警務課）又ハ關東都督府巡查募集事務所ニ宛志願書ヲ提出シ試驗當日午前八時迄ニ筆記用具携帶出頭スヘシ

大正六年八月

關東都督府

一、身長五尺二寸以上年齡滿貳拾壹歲以上四拾歲未滿
一、志願書ニ自筆ノ履歷書及戶籍謄本ヲ添付スヘシ但シ戶籍謄本ハ採用ノ時迄ニ提出スルモ妨ナシ
一、志願書受理期限ハ九月壹日午前八時迄トス
一、採用者ニハ當府迄打切旅費給ス
一、給與ハ巡查ノ給與ハ練習中（三ケ月）ハ月拾七圓修了後ハ月貳拾九圓餘ノ收入アル外宿舍ハ官ニ於テ設備ス
以上

京日案內

普通一回金五十錢 番外一回金一圓（但五行以內）
▲申込は前金のこと▲申込締切は前日正午迄▲六行以上は一行を增す毎に前記料金の半額を加ふ▲御照會の節は返信料を添へられ度し

■齒科治療 一番及インジン二番 中古賣却 飯塚齒科醫院 461

◇事務員採用 簿記に經驗ある者 自筆履歷書寫眞送附あれ 京城南大門通 丁子屋洋服店

◇店員入用 十六七歲より廿歲迄身體壯健なるもの要保證人本人來談あれ 京城本町一丁目 雜貨部 450

◇店員募集 十八歲より二十八歲迄販賣に相當經驗ある者給料面談の上 京城大和町二丁目 高橋醬油製造所 451

●看護婦及見習數名募集す 志望者は本人來談の事 佐藤病院 453

●有給社員採用 男子二人女子一人 京城黃金町一丁目 國民興產株式會社（電話三〇七九番） 654

齒科書生採用 履歷書携帶來談 京城南山町三 電話二九二〇番 橋本齒科醫院 455

●有給外交員至急入用 市內は本人來談あり度し 龍山漢江通 履歷書送れ 452

●看護婦及藥局生入用 履歷書携帶本人來談あれ 仁川 松本病院 希望者は履 458

中古ピアノ出物あり 貸オルガンも有ります 京城本町 ウツボヤ樂器店 電三五七 435

◎醫師招聘 （忠清南道青陽鑛山） 希望者は京城永樂町二ノ七 電話三〇二六番 青陽鑛山事務所へ 460

恩給年金 五年分迄無保證 利子一割 京城南大門 四年分迄 電話二六八番 即時現金立替 利子後引 山口屋 367

貸家 三ケ所あり 眺望絕景 （但獨立家屋） 京城旭町一丁目 電話一七一四番 白水 457

公債株式現物賣買 東京合資會社朝鮮商會特約店 京城黃金町二丁目 電話二三八一番 加藤商店 330

◎はねつき（ろちみ） 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 342

恩給年金立替 五年迄利一〇 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正館向）元祖 博多屋本店 397

◎鑛物定量分析 明治町一丁目 （電話二七七一番） 本町 江戶川橫入 田部分析所 459

萬年筆 ヌーワロツ印 スワロウ印 特約發賣元 文房具部

新案 耐水調革 ハラタ調帶 新田帶革 朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行 定價表申込次第送呈

醇良清酒 醸造元 大阪府堺市 肥塚源次郞 京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郞（電話長二九番）

洋鐵 洋釘 鋼 亞鉛 線 浪平板 銅 眞鍮 板 鐵 板 力 板 地金 類 福田又五郎 京城本町 天

純良 牛乳 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二番

ニツソ 石鹼 洗粉 主製 肥塚正太

（左端欄外破損）……宮崎九館長以下百二十名二十一日……神戶に安着せり（大阪特電）
●暴風警報 （廿二日午……）

新羅の舊都に遊ぶ（一）

新羅臭き名の『阿火里』……金尺陵の傳說……徐羅伐の遺墟慶州に入る

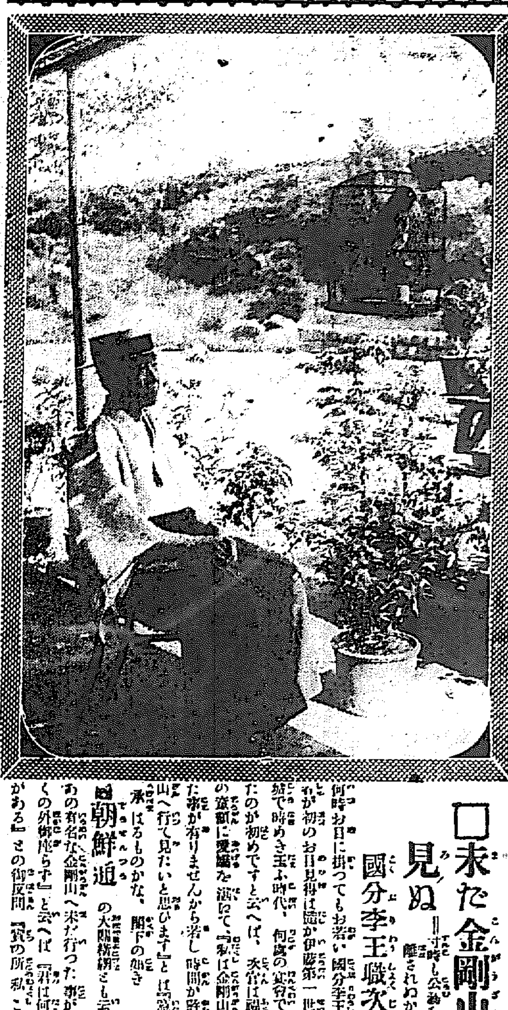
五道踏破旅行記者　李光洙

◇大邱より自轉車にて、新羅の舊都慶州に向ひ申候。一行は同伴二人、警官一人合はせて四人なり。轡にあらでハンドルを並べたる四人の姿は中々勇ましきものに候。晏勝なれども暑氣甚しく汗びつしよりなり。河陽にて濁酒と蕎麥にて腹を拵へ、永川に至ればへと〱に疲る。暫時小田原評定ありて、遂に永川に泊ることに一決致候。永川は字の示す如く河畔の小邑なり。後方は山あり、前方に河に沿へる絶壁あり、其の昔塔など水の流れし時には、中々景色の好き處なりしならんと想像致され候。三千圓も掛けてやつとのことと架したる橋も、流れてより已に一周年を經るも、再架は思ひも依らざることゝ諦念し居るらしく候。

◇便所に隣れる室にて、如何はしき食事を濟ます。命惜しければ御飯丈は無理に詰込みしも、お饌は眞に食べられたものにあらず。食後絶壁下の清流に身體を浸して、爛爛たる星斗を仰ぎつゝ、空嘯くを得たるは、大なる御馳走にて候ひき。向うにか此うにか一夜を過し、早朝五時食事も抜きにし永川を去る。空腹を抱へてアカシヤ並木の蔭を走ること約一時間半、名前さへ新羅臭き『阿火里』にて朝飯を喫す。昨日八里、今朝四里、都合十二里を走りて慶州まで餘す所僅か六里なり。此よりは山容如何にも優麗にして、流石は千年の綺爛たる文物を育みたる、徐羅伐の古都の近づきしを覺え候。

◇更に自轉車を走らすること四里許り、路傍に點々と散在せる圓錐形の土丘こそは、名にし負ふ金尺陵にて候。傳說に依れば、新羅の王室に傳來の一金尺あり、之にて病めるものを量れば病癒え、死せる者を量れば死者甦る。然れども世を長く世に止むるは造化を賊する所以と、之を地中に埋め其の在所を隱さん爲め、同じき土丘二十有五を作ると、惜しきことをしたるものかな。其さへあらんには、武烈文武の威勢赫々たる王者も、青草離々たる古塚の下に横はらで濟みし者を等、今になつて愚痴るも甲斐なし。恐らく此等の古墳は新羅建國以前の住民の墳墓なるべきか、數千年の風雨を閲して今尚ほ山かと疑はるゝ程宏壯なるに、其の當時の住民の氣象の如何に偉大なりしかを語る如く思はれて、我等を祖先とする小生も、大いに氣強く感ぜられ候。

◇此より慶州に至る約二里間には、金尺陵に類したる古蹟多く見受けらる、餘程古き時代より文化の開けし所と思はれ候。孝峴なる坂を上りて、眼前に開けたるが慶州平野にして、一千餘年の昔、百萬の人口を盞せば、四里に連れる朱欄綺閣と、當時の興隆せる唐と燦爛を競ひたる文化を殺せし、新羅の舊都徐羅伐の遺墟にて候。蜿蜒たる半月城と、累々たる四十八王陵のみ、年々歳々草相同じ。曾つては舟楫を通じたりと云はるゝ蛟川の河川さへ已に涸る。國破れて山河在りと云ふも、遙かに信ずべからず、山河さへも已に容を變へて、我は新羅を知らずと申す如く相見え候。百濟の都を去りて四十日、今新羅の都に至る、共に空墟なり、小生が感慨御推察のことゝ存候。此より古蹟を探るべく、其の都度感想を申上ぐべく候。匇々不一（八月十五日慶州にて）



●十三晝夜 海上に漂ふ

慶北鬱陵島南面道洞居住島根久次郎所有の帆船長資丸は去る一日乘客十數名を載せ鳥取縣境港を出帆し三日鬱陵島沖に船影を現はしたるも折柄の暴風怒濤に押流されて行方不明となりしが爾來同島警察署にて

▲行方搜索中 同船は去る十二日鬱陵島の沖合に船影を現はしたりしこれを見たる島民は十數隻の漁船を出して漸く港内に引入れ船員乘客一同無事上陸するを得たるが船員の語る處に依れば同船は海中に漂流すること十三日間其間炎熱燒くが如き天候續きたると乘船者十五名の多きことに依り飲料水の缺乏を來たし種々なる手段を盡しゐたりしが

▲今後五六日 を漂流したらんには乘員全部渴死するに至りたるべく漂流中幸ひに沖合航行中の汽船に救を求め飲料水食物等を與へられ辛うじて生きゐたるものなりと

●金塊五百五十萬圓

二十一日神戸に入港せし米國汽船は米國より大阪造幣局へ金塊六十九個を積み來れり一個八萬圓總計五百五十二萬圓にて阪神電車にて大阪造幣局に送致せり（大阪特電）

●信書を隱匿して行衛不明

大阪府下西成郡鶉郵便局集配人丸岡米春（二〇）は信書四千通を隱匿して行衛不明となれり（大阪特電）

●大仕掛の阿片煙密造

國境方面の特殊犯罪たる茂山郡の阿片煙密造は昨今續々檢擧せられつゝあるが茲に從來同犯罪稀有なりし鏡城郡に於て大規模なる同犯罪の行はれるを今回檢擧したる同郡朱乙温面市上洞なる部落民十數名は同洞山中に罌粟を栽培し阿片煙を製造せんと豫て罌粟栽培中なりしが既に開花結實せしを以て阿片煙を採取せんと共犯者十二名は本月九日夜夫れ〲採取の準備を爲し萬一採取中憲兵等の檢擧に來るあらば發砲して之を免れんと銃器を携帶して山中の罌粟畑に到り阿片煙密造中なる事を探知せり朱乙温場憲兵分遣所にては所長以下憲兵、補助員等檢擧に向ひ十一時半頃現場に至り罌粟等が作業中を突然襲撃して之を逮捕せんとするや犯人は極力對抗して逃走を企て十名は遂に逃したるも二名を逮捕したりと

●色魔俳優捕はる

大阪市西區阿波座中通藝名中村鶴藏事岩佐榮一郎（三二）は各地を横行し婦女を誘拐する惡俳優なるが本年三月頃より晋州に流れ來り一定の住所なく放浪中過般來より郡鎬藝妓三治に誘拐を試み同人に前借百餘圓あるより金策に窮り某音町常盤館主宗貫フジより純金指輪三本代價四十五圓を詐取し潛川に高飛びをなし潛伏中十七日同地憲兵隊に逮捕され晋州に護送さる尚ほ餘罪あるものゝ見込みにて嚴重に取調べ中（晋州）

●演習中に溺死

歩兵第七十七聯隊は去月中旬より引續き游泳演習實施中なるが廿日午前九時より各中隊より上等兵一名兵卒三名宛を出し吉田本部附軍曹引率の下に船橋里水泳場に至り演習準備中十二時十分頃第八中隊の二等卒井出小太郎が江中に警戒旗を樹てんと泳ぎ行く途中俄かに痙攣を起して忽ち姿を水中に沒したるより之を目撃せる兵士は急ぎ救助に向ひたるも時しも急激なる滿潮時にて遂に目的を達するを得ざりしが急報に依り第四、五、六、七、八の各中隊兵其の他憲兵警察官は協力して十六隻の船に分乘し八中隊長小野大尉指揮の下に投網を入れて江中を搜索せしも未だ屍體を發見するに至らず少時搜索を中止し干潮を待つて更に搜索を爲せり

●爆藥で漁獲

原籍岡山縣生れ永川郡倉邱面居住の雜貨商小野德太郎（三五）は去る大正四年許可を受けて導火線及び火藥を買入れ其使用殘りの火藥十匁及び導火線一丈を許可條件消滅したる後に於ても無屆にて所持し居り去る四日同村に住む福岡生れの白木品平（二六）と共に同日午前八時頃より午後一時頃までの間に前記爆藥を永川郡を流るゝ琴湖江の上流なる前川に投入し鮎漁をなしたる事發覺し又永川郡内洞住居の大分縣生れの除田寅喜（三八）は無許可にて何れよりか雷管及びダイナマイトを持ち來り去る三日これを琴湖江に投じ魚を捕らんとしたる事發覺して同地警察署に檢擧され銃砲火藥取締規則違反及び漁業取締規則違反として大邱地方法院の公判に附せらる

●盜んだ爆藥から

慶北迎日郡九龍浦居住土木請負業藤井清事藤井喜内（二二）は去月十二日金泉郡鳳山町旅人宿李春吉方にて金泉秋風嶺間の鐵道工事に工夫として雇はれ居る三郎事張某が竊取したるダイナマイト十本を一本二十錢づゝにて買ひ取りこれを知人なる三重縣阿山郡飯野村生れ慶南蔚山居住の穀物仲買商清水幸次郎（三五）及び佐賀縣藤津郡生れ秋風嶺居住の魚商山本軍八（三七）の兩人に保管方を依託し兩人はこれを大邱に持ち來り錦町森田旅館に宿泊しゐたるを大邱署に看破され三人とも銃砲火藥取締規則違反として引致され大邱地方法院檢事局に護送されたり因に軍八は去る大正三年七月長崎地方裁判所にて横領罪に依り懲役一年に處せられたる前科者なり

●横領

熊本市細尾今町生れ住所不定の寺本嘉平（三五）は本年四月より京城本町二丁目岡田文林堂に雇はれ記帳集金に從事中前後八回に店の金三十五圓許りを横領消費し居主に告訴され本町警察署にて取調べの上裁判所へ送らる

●宿主に訴へらる

廣島縣安佐郡長束村生れ京城明治町二丁目小川旅館滯在小川陽一（四）は江上及び池田の兩名を伴ひ本年三月九日より小川旅館に泊り込み宿料は全部小川が擔當すべしと稱し百五十二圓餘り嵩みたる宿料を支拂はざるより宿主に告訴され小川は本町警察署にて取調べらる

□未だ金剛山を見ぬ ―すこし公務を離されぬから―

國分李王職次官談

何時お目に掛つてもお若い國分李王職次官に聞けば初のお目見得は遙か伊藤第一世統監公の京城で時めき玉ふ時代、何處の宴會でもお目に掛つたのが初めてですと云へば、次官は圓々しい無邪氣な顏に愛嬌を湛へて『私は金剛山へ未だ行つた事が有りませんから若し時間が許すなら金剛山へ行つて見たいと思ひます』とは意外なる事かな

■朝鮮通 の大關格とも云はるゝ方があの有名な金剛山へ未だ行つた事がないとは驚くの外御座らず』と云へば『君は何遍行つた事がある』と、その御反問『實の所、私』ことは三十六年に渡鮮して參つたものでありますが、一何遍行つた事があるのかい』と否――に未だ參つた事が御座いません』と自白すれば、次官は微笑みて『まア何しろ私の役目は樂に見えても中々寸暇も公務を離れることが出來ないんだから、ツイ未だ行つた事がない』と語を續け

■此の間 李王殿下の北鮮御巡成の際金剛山へ自動車を通ずる樣にしたいと思つたが、未だ其運びに至らず。同地への交通路は不便から長安寺へ行く道を完全にすべく大分金を掛けたのであるが、先達から漸く自動車が通じたやうだ。今まで京城から三日も掛つたのが自動車開通後は五日間で行かれる。何しろ金剛山の勝景は行かない私が説明するより、既に内鮮新聞雜誌や紳士の口で東洋一との定評があるから、私も時間が許すなら是非一度行つて見たいと思ふ（新營見記者）

◆大正館

[illegible]

◆有樂館

[illegible]

◆黃金館

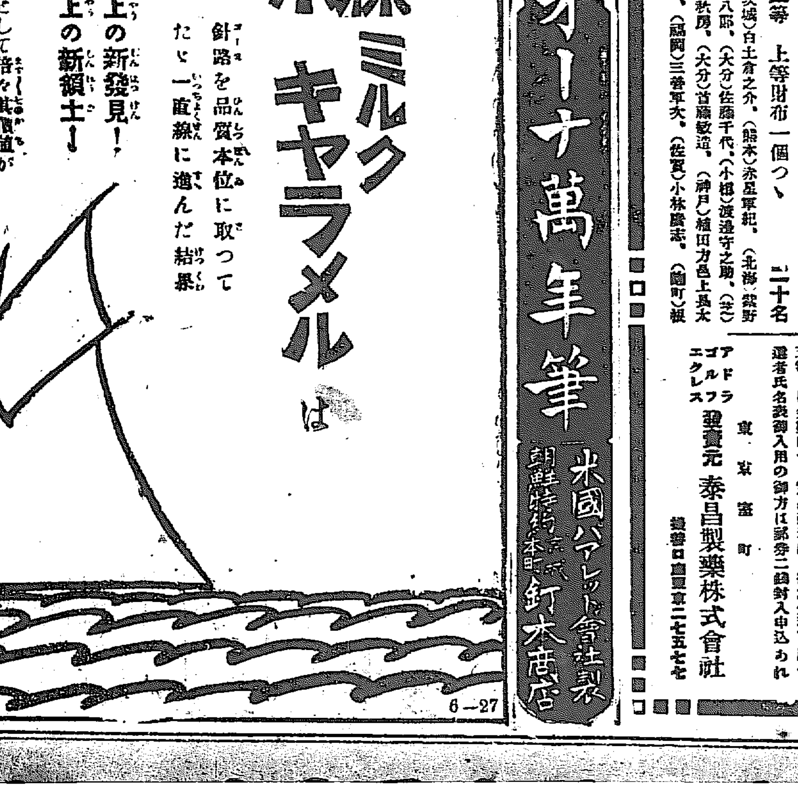
[illegible]

うわさのうわさ

▲先月盲腸を切つた小村野銀理事は未だ東京帝大病院に居る▲此頃じや床の上に起きて人との對談は辛うじて出來るとの事、唯容態はハキ〱とよくはならぬらしい▲一體盲腸と云ふのは造化の神のイタヅラで、あつても何の足しにもならず、ない方が好いのださうな▲で西洋人の中には若い健康な時盲腸を切除して終う者は少くない▲日本では一度盲腸炎にかかつて治つた人は、大抵切除する▲唯健康の内に盲腸を除去するは身體に障られぬけれど、一度盲腸病んで、之れを切つた人の經過を永い間見てゐると、餘りよくないと云ふ人もあり▲從つて木村理事の豫後を大分心配してゐる行員がある▲但し木村氏は、兎に角何をするにも、自分で曲りなりにも成る程と合點が出來ねば、斷じて決行しない性質の人だから、盲腸を挾んで、盲腸を切つても更に差し支へないと云ふ事をよく〱西手に就て調べた上、今回の切除手術を受けたのであらうとは同氏に親近した人の話しである▲新任黃海道京畿道警務部長は深く和歌に趣味を持ち是迄の吟詠もなか〱夥しいさうで黃海道や全羅南道でも地方の各警察署を巡閲の際など山川跋渉の砌、個々會心の場所では一首宛必ず殘したものだそうな▲『……なれの流れはよしや隔つとも結びあひてそ猶つきさなむ』は最近隈部少將への返信に添へて送つた一首

名殘の佐久良座

龍山三角道路劇場佐久良座は今回陸軍用地に編入せられたるを以て他に移轉の止むなきに至りしが折よく大郎の興行家が同地に移築する事となり此程契約整ひしが同座は開場以來頗る人氣振はずこの儘移轉するは新座主に取りても面白からず何とか最後の一花咲して芽出度移轉する事となり從來の行掛り上龍山消防組に懇請し消防組主催の下に今廿二、三、四の三日間山村都紀子一行中の水口花子一座の女優劇を開演し新舊龍山の主なる人々を多數招待する筈なれば定めて盛況なるべし（龍山）



14K
オーナ萬年筆
米國パアレット會社製
朝鮮特約店京城本町 釘本商店

ゴルフ懸賞當選發表

過般募集の懸賞答案總數五萬八千〇九人内正解者一萬六千二百十七人中より八月十二日、新聞社員立會の上嚴正なる抽籤の結果左の各位に當籤相成り申候間早速賞品贈呈可仕候

一等 懷中時計一個つゝ 三名
大阪市東區淡路町二ノ三七 高木延太郎
北海道虻田郡倶知安町八號線 大島いつ子
長崎縣東彼杵早岐東町 早田伊三

二等 上等置時計一個つゝ 五名
栃木縣足利町榮町一丁目松本方 伊藤潤三郎
東京市本所區元町十二番地 齋藤直吉
朝鮮京城本町四丁目 新田重雄
淺草區千束町二ノ三七一丸山方 岩本邦平
本郷區駒込神明町三九二 中山吉清

三等 上等財布一個つゝ 二十名
（茨城）白土倉之介、（熊本）赤星軍紀、（北海）荻野喜八郎、（大分）佐藤千代、（小樽）渡邊守之助、（芝）沛秋男、（大分）首藤敏造、（神戸）植田方邑上県太郎、（福岡）三善軍次、（佐賀）小林慶志、（麴町）根岸……

四等 萬年筆一本つゝ 三十名
（京橋）岸辭男、（赤坂）清岡質、（牛込）山本齊吉、（靜岡）松下方島田ミツ、（日本橋）小森方杉野治夫、（京都）曾根十三吉、（京都）國田正治郎、（京都）山田吉次郎、（神奈川）田島うめ、（神奈川）八木勇、（大井町）荒牧龜雄、（福岡）陸軍四郎、（神戸）松田文藏方西田汎然、（兵庫）大門篤太郎方木下隆晴、（豐多摩）大野愛三、（福島）齋藤英一、（岡山）森安龍太郎、（三重）小山平太郎、（山形）後藤民左衞門、（北海）飯岡一郎、（群馬）齋藤英爾、（京橋）永澤方吉川吉蔵、（小石川）石島なか子、（木浦）道田公平、（大分）古島道、（京城）國分清一、（宇治）川邊賢、（山形）秋山ふく子、（名古屋）福島實、（仙臺）佐藤たつ、（茨城）監原増輔、（武州）丸抜五郎、（深川）荒井元之助方磯市、（淺草）鳳見幸藏、（福島）久野不二丸、（茨城）橋本鑑太郎、（信州）杉山方秋田幸三、（横須賀）芝崎靜夫、（近江）奥田留吉

五等 は多數につき賞品到着にて御承知被下度當選者氏名發表御入用の御方は郵券二錢封入申込あれ

アドラ ゴルフ エクスレス
發賣元 東京室町 泰昌製藥株式會社
振替口座東京二七五七七

スポンジタイヤーの提供
MADE BY SPONGE TYRE & CO. SPONGE TYRE.
MADE IN JAPAN
PATENT NO 27882
絶對にパンクの恐なし耐力久大にて理想的タイヤーなり長途旅行安全なり
空氣代用のタイヤーを外國にても多年研究中完全無欠の本タイヤーは我國にて發明せられたり
日本 英國 露國 印度 佛 米國 專賣特許品
朝鮮一手販賣 釜山西町一丁目 一〇商會

宮崎丸 船員神戸著

花筐（八七）

松田竹の人作

早見と京子が、應接間で晤してゐると、樫本清徳は入院患者の診察を了り、聽胸機を手にして廊下を通つて來た。

丁度應接間の入口の扉が明け放してあつたから、見るとはなしに早見を見た。

清徳は、京子が早見と相對して語り合つてゐるのを、疑問の眼を以て見たのではなかつたが、若しか晤の邪魔が來てゐるのではないかと思つたから、廊下に立つたまゝ、

「京野さん。」と呼んだ。

呼ばれて京子が、應接間から出て來ると、清徳は低聲で、

「應接間に來てるのは何誰ですか。」

「夫の親友で、早見謙吉といふ者です。」

「彼の人が、御噺の早見君ですか。……私も逢ひませう。」

「先生が御逢ひ下さるなら、此上もないことでございます。」

「では御紹介を願ひます。」

清徳は京子と共に、應接間へ入つて來た。

「早見さん、此方がこちらの先生でございます。」

早見は、直ぐと椅子から腰を立て、叩頭を爲て、

「初めて御目にかゝりますが、私は早見謙吉と申すもので、京子さんのお連れ合ひの市野誠信君の友人でございまして。」

清徳も又頭を下げて、

「私が樫本清徳です。貴方のことは、京子さんから豫て伺つて、御名前だけは存じて居りました……さあ切望御掛け下さい。」と言つて、椅子へ腰を卸すと、早見も續いて腰をかけて、

「此度は、圖らずも京子さんが御紹介に爲られることに爲りましたが、此上とも何分宜しく願ひ上ます。」

「妙な御縁から御身上を御引受けすることに爲りましたが、京子さんは前非を悔悟いに爲つて、献身的に看護婦として御働きに爲らうといふのですから、私は喜んで……しいのです。」

と清徳は、卓の上で、聽胸機のゴム管を指先で弄りながら、

「早見さんは、市野さんの御友人とすると、學校が御一緒でゝもあつたのですか？」

「左樣です、中學から高等學校、續いて法科大學に一緒に居ました。夫れに郷里が同じ靜岡縣でして、彼は靜岡出身の石島康民先生と云ふ方の塾に、一緒に寄宿してゐましたから、友人としては深い關係があるのです」

清徳はこれを聞くと、首を捻つて少時考慮へた後、

「石島康民先生と言ふと、一時文部省の書記官を爲された方ぢやありませんか？」

「左樣です」

「では早見さんも市野さんも、石島先生方に御在塾に爲つたのですか？」

と清徳は、宛も石島康民を知つて居るやうな口吻であつた。

「もしか貴方は石島先生を御存じであらつしやるないですか？」

「存じて居ります……存じて居る段か、實は私の恩人です」

「先生は、彼の父を……」と京子が、清徳の顔を凝乎と見ると、清徳は京子の方へ顔を向けて、

「石島先生を父と言はるゝは、京子さんは、先生の御令孃ですか？」

「石島康民は、妾の父でございました」

「そりや意外ぢや」と清徳は呆れた

日報俳壇

青 苔

石に丈走る穿刺鋤や青苔　　刀

青苔鶴車下一椅子も青苔　　同

水死の跡を押す碑の青苔　　同

青苔踏む者清むる蛙の青苔　　二征

鮎

鮎落ち水や鮎飛ぶさいゝら渡　　隈山

百日紅

一夜の離れ見し影や百日紅　　同

涼 し

一魚跳ねて葉の葉涼し朝の月　　鳥岳

簷に水背に山涼し簟　　同

涼しさは網を投げば沙上　　同

柳蔭涼み夕日番船見て立つ　　拓川

川 狩

川狩や蒲原として雲の雨　　梅李

雷

雷落ちし町の銀杏や仰ぎ過ぐ　　汀幽

敬台の鋪唯鳴るやはたゝ神　　同

酢

酢桶の輪が走りたる夜の音　　春郎

酢の石傾く音に讀みやめし　　同

日 盛

石を塁みて釣りし魚焼く日の盛　　非水

轆轤休めぬ隣の音や日の盛　　同

茂 り

面事務所の屋根光れる茂り哉　　楚川

梅 雨

梅雨晴間背戸に物干す女かな　　同

行々子

芦に吹かるゝ三日月白し行々子　　秋雨

立 秋 ―五の日十の日會吟―

○

追々部屋々々顔が揃ひ秋口　　浮碧樓

○

秋立つ日の照り返し毛布干せり　　田華柿

○

秋が來て壁の紙袋を下し　　句平虹

○

三等待合室の一時間秋になつた　　鳥堂

○

カチかつい〱飛ぶ秋の來る樹を見上げ　　日

○

秋立つ棚田道下りしな蹤き　　池

新刊紹介

▲朝鮮農會報（二の八）（一部二十錢水原朝鮮農會）

▲鐵世界（三の八）（一部二十錢大阪松島一其社）

▲黑白（八）（一部十錢東京築地三の一五其發行所）

▲婦人週報（三の三二）（一部五錢東京牛込市ケ谷田町二の一七其社）

▲園芸虎之卷（五の八）（一部二十錢東京麻布宮士見町四三富の日本社）

▲現代の實業（本日發輝輯）（一部十五錢東京本所横尾二の二其社）

▲愛知縣商品陳列館報告（七）（一部五錢名古屋愛知縣商品陳列館）

▲發明化學工業界（一二）（一部十五錢大阪東區道修町二同濟號書房）

▲土木建築工學（四〇）（一部二十五錢東京日本橋區本石町一の一工學社）

日ヤケを防ぎ素顔の美人となる

ホーカー液

暑中の進物 贈つて體裁よく頂いて重寶なこして第一番です （大、中瓶は一本宛高雅なる桐箱入なり）

朝夕一滴づゝ

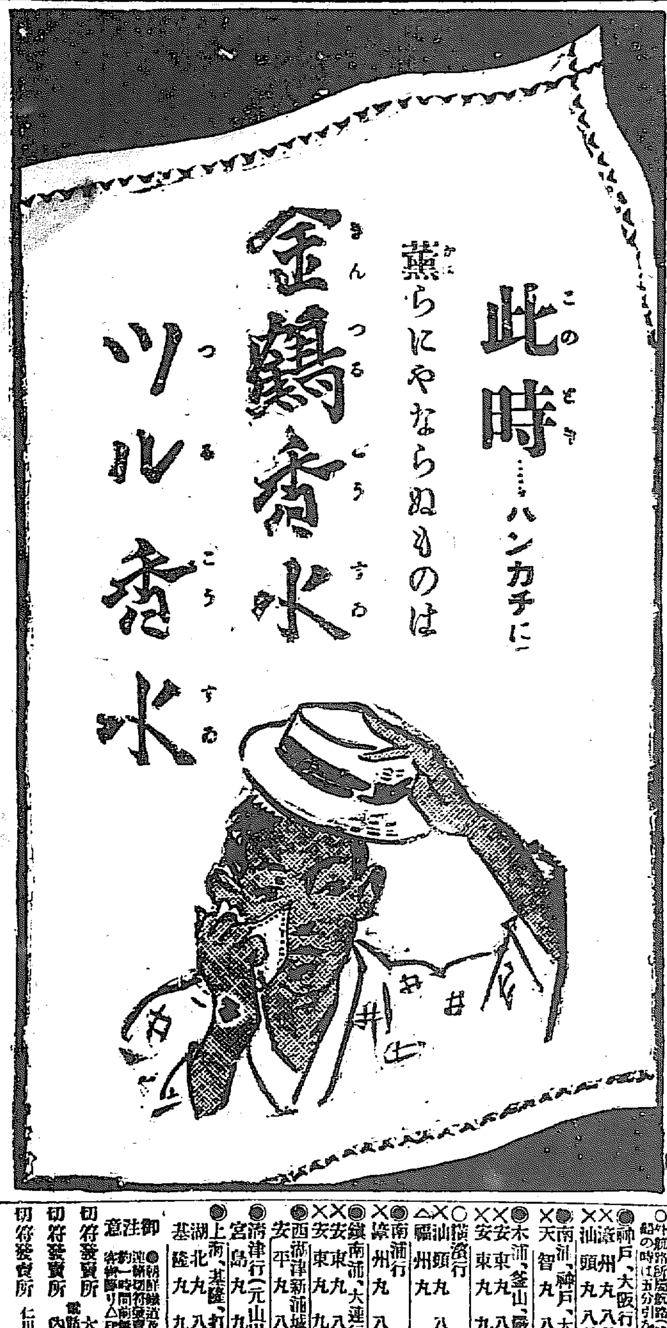
■色を白くキメを細かにし
■アレを防ぎ、色艶を好くし
■夏の日ヤケを完全に防ぐ
■白粉下、トキ水によく
■子供衆の皮膚を丈夫にし
■生れつき色が白い樣に見せ
■紳士の鬚そり後に適す

□美容効果□

定價	
大瓶	八十錢
中瓶	四十錢
小瓶	二十錢
送料	內地鮮滿 每册

若し最寄の店に品切れの節は本舗宛直接又は三錢切手代用にて御注文あれ

本舗 堀越嘉太郎商店 東京神田和泉橋電話東京一五六

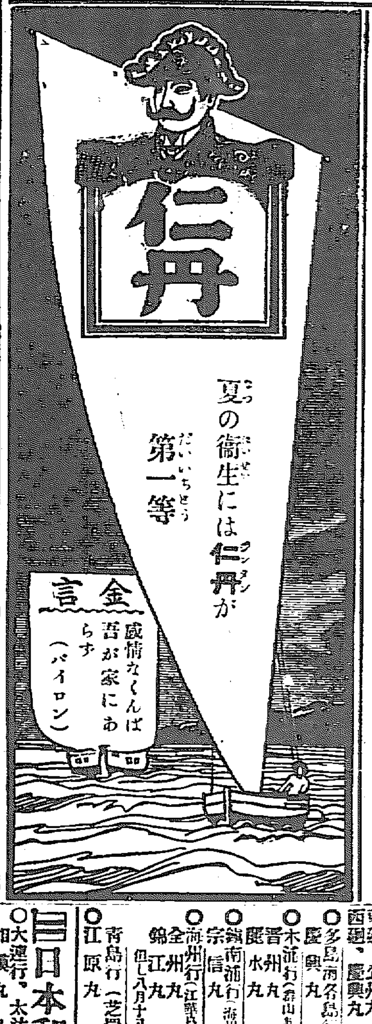


七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液

今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料内地八錢清鮮卅錢臺樺廿錢 東京神田和泉橋際 松本藥店

小瓶 二十錢 普通 四十錢

衛生 全乳 京城若草町 荒井牧場 牛乳部 電話京龍山一〇〇四 一七三一



大阪屋號書店

天然生活法

●ロ八十女子はかき文 ……三五
●特別衛英新集 ……九〇
●經營祝賀幣祭文範 ……六〇
●朝鮮弓裘月曲 ……七五
●婦人文藝讀本の卷 ……
●現代畫家スケツチブツク ……一、〇〇

進むべき道

新田豐評 ……定價八五
南條文雄著 ……定價一、三〇
●兒童の心理 ……一、五〇
●家庭兒童研究 ……二、八〇
●海外交通史話 ……二、五〇

最新刊

京城本町一丁目 電話…

特許機械製 ほまれみそ

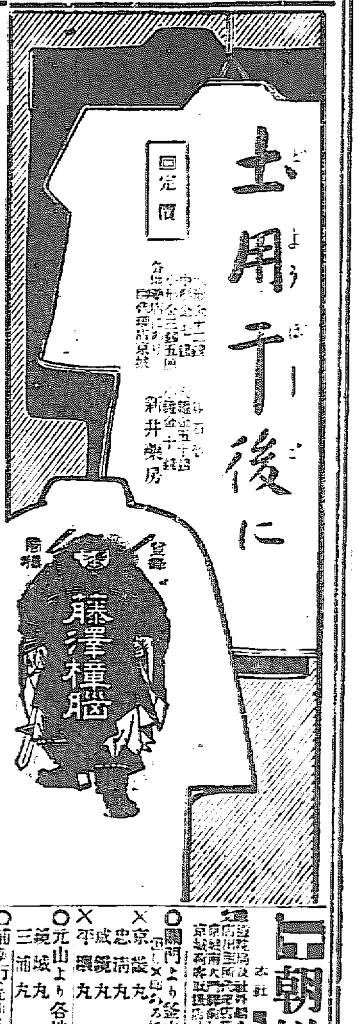
於第八回日本産業博覽會 銀牌受領

釀造元 仁川府松林里 日本醬油株式會社

御佛具調進所 京城黄金町三丁目（花月前） 小倉佛具店 電話一五二一番 振替五二三元

せきずい

病には効能正しき良藥あり因難の方に往復端書にて御照會あれば詳報す 京城南大門通 高砂屋藥房



朝鮮郵船 出帆

本社 京城 電話…

○關門より釜山各地經由雄基行（但し×印は……）

×京 城 丸　九月　二日
　忠 清 丸　九月　九日
　咸 鏡 丸　八月廿九日
×平 壤 丸　八月廿四日　釜山發

○元山より各地經由雄基行

鏡城丸　八月廿八日
三浦丸　八月廿四日　元山發

○浦潮行（元山より城津清津經由）

平安丸　八月卅一日　元山發

○元山長箭間

鏡城丸　八月廿七日
成鏡丸　八月　日
鏡城丸　八月廿三日　元山發

○釜山元山間

慶賀丸　八月　日　釜山發
　　　　八月廿五日　元山發

○鬱陵島行浦項及各地經由

至德丸　八月　日　釜山發

○浦項行（長生浦各地經由）

江陵丸
襄陽丸　毎日　釜山發

○濟州島行長承浦麗水巨文島經由

昌平丸　八月廿四日　釜山發

○麗水行（各地經由）

海州丸
就營丸　毎日　釜山發

○木浦麗水間

順天丸
南陽丸　三日目毎に木浦發

○木浦より濟州島行各島經由

東廻 公州丸　八月廿七日
西廻 慶興丸　八月　日　木浦發

○多島海各島行

慶興丸　八月廿二日　木浦發

○木浦行（釜山其他各地經由）

晉州丸　八月廿七日
麗水丸　八月廿二日　仁川發

○鎭南浦行（海州其他各地經由）

宗信丸　八月廿四日　仁川發

○海州行（江華島各地經由）

全州丸
錦江丸　毎日　仁川發

○江原丸　八月　日　仁川發

青島行（芝罘、大連經由）
但し八月十八日廿二日の二回休

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行

相模丸　八月廿七日　正午出帆
高砂丸　九月　七日　正午出帆
三河丸　九月十七日後十二時出帆

仁川港町一丁目 電話十一番 堀 回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航航路（……）船の時は五分引を以て……

●神戸、大阪行
×清州丸　八月　日
×汕頭丸　八月三十日　後二時出帆

●南浦、神戸、大阪行
×天智丸　八月　日後二時出帆

●木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行
×安東丸　八月　日
×安東丸　九月　五日後二時出帆

○横濱行
△汕頭丸　八月　日
　福州丸　八月　日後二時出帆

●南浦行
×漳州丸　八月　日後二時出帆

●鎭南浦、大連行
×安東丸　八月卅一日
×安東丸　九月　日後二時出帆

●西湖津新浦城津清津行（元山出帆）
安平丸　八月廿七日後十二時出

●清津行（元山出帆）
宮島丸　九月　二日後十二時出

●上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　八月廿五日前五時出帆
基隆丸　九月　十日後四時出帆

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と聯絡の連帶切符發賣仕候●小荷物は一時間前無賃送迎可致候●×印は寄航……

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番、二〇、五五八番
切符發賣所　內國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　朝鮮旅館　電話二六一番

商況

大阪正米特電

二十一日後場寄付▲寄付二十一圓七十六錢▲中……

先物			
宇治川水電	二五九、七〇	二五七、一〇	
東洋紡績	一〇五、五〇	一〇五、四〇	
合同紡績	二〇六、六〇	二〇六、一〇	
鐘淵紡績	二八九、〇〇	二八七、〇〇	

大阪三品特電

八月限	三六〇、八〇	
九月限	三五九、六〇	
十月限	三六三、八〇	
十一月限	三六四、〇〇	

仁川期米

寄付	二〇、二一		二〇、八〇
安値	二〇、二〇	二〇、七八	二〇、八七
止め	二〇、二三	二〇、八二	二〇、八四

▲薄商內閑散 天候一時小康をみたるも又小雨となりたり大阪の上寄を受けて十九圓三十九錢を小高く寄付き四十錢を揚げたるが戻りは小口賣物多く二十六錢を押して……

▲日先小相場乎 ……

▲廿一日の廿日限 ……